

千葉県子どもの実態・意識調査

2008（平成20）年11月
子どもの権利・参画のための研究会

子どもの権利・参画のための研究会委員名簿

	氏 名	所 属 等
会 長	池口 紀夫	中核地域生活支援センター夷隅ひなた所長
	池田 徹	(福)生活クラブ理事長
	市川 まり子	ほっとすぺーす主宰
	岡田 泰子	(NPO)子ども劇場千葉県センター理事長
	甲斐 久美子	(NPO)東金山武子育て支援センター理事長
副会長	黒木 裕子	(NPO)佐倉こどもステーション理事長
	佐藤 浩子	CAPぽけっと CAPスペシャリスト

(平成17年8月～平成20年3月)

調査結果

【調査目的】

子どもの権利・参画のための研究会において、子どもの権利擁護及び参画の推進についての方策を検討するための基礎資料とする。

【調査対象】

千葉県内のおおむね小学校4年生～高校2年生及びその保護者

【調査時期】

- (1) 第1回調査 平成19年6月5日(火)から同年7月31日(火)まで
(2) 第2回調査 平成19年11月12日(月)から同年12月31日(月)まで

【調査方法】

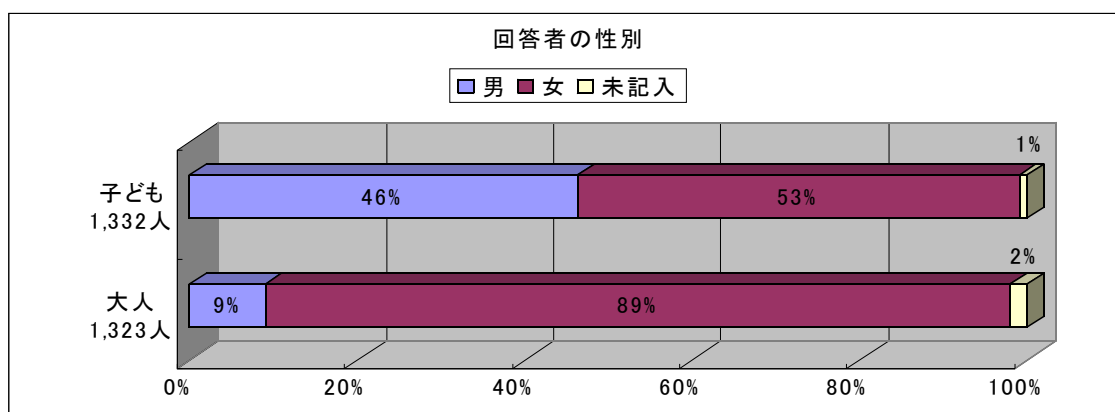
小学生・中学生及びその保護者については、千葉県子ども会育成連合会の各支部並びに県内小中学校を、高校生及びその保護者については県内の高等学校を通じて調査用紙を配布し、子どもと保護者の回答を返信用封筒に同封し、郵送により回収する方法をとった。

【回収結果】

配布数	回収数		回収率
5,020部	子ども	1,332人	26.5%
	大人	1,323人	26.4%

【回答者の属性】

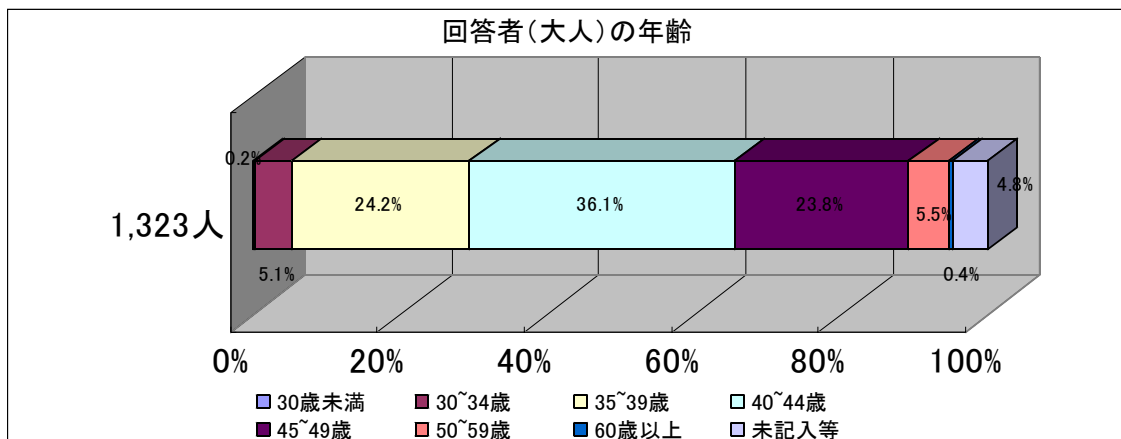
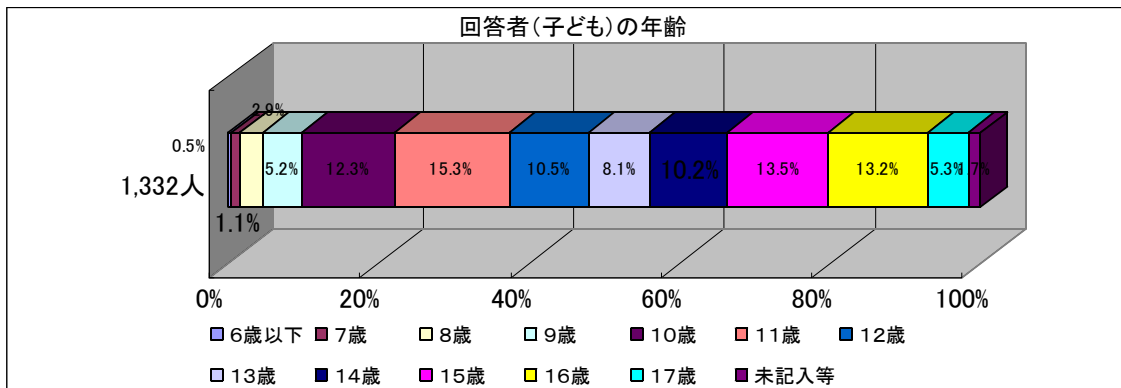
1 あなたの性別を教えてください。 1 男 2 女



【集計状況】

- ・「子ども」では、やや女子の回答が多かった。
- ・「大人」では、9割近くが女性（母親）からの回答となった。

2 あなたの年齢を教えてください。 [] 歳

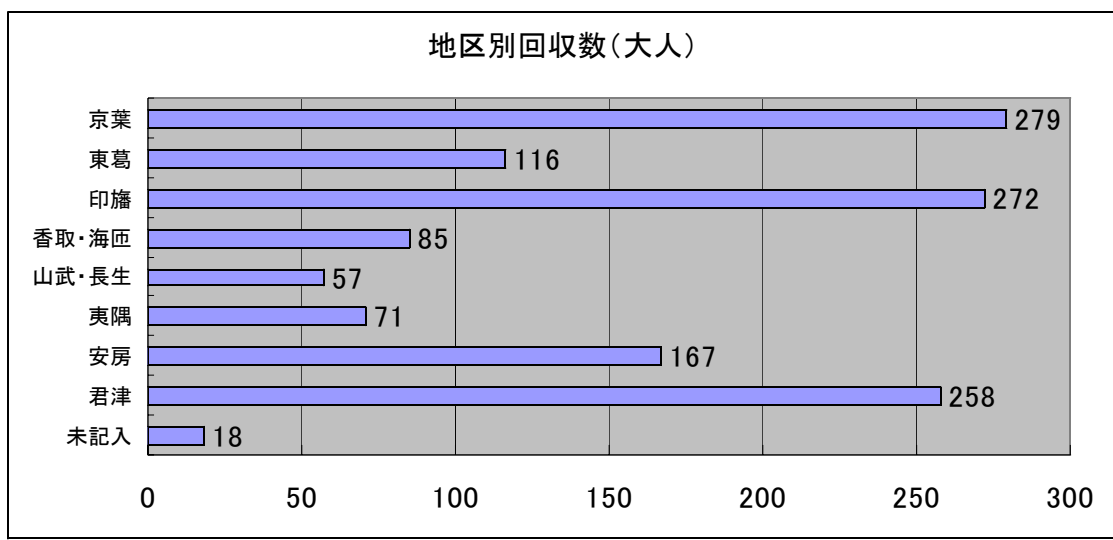


【集計状況】

- ・ 小学校低学年が回答を寄せてくれたものもあった。
- ・ 大人では 35 歳～ 49 歳が 8 割以上であった。

3 あなたの住んでいる市町村を教えてください。[市・町・村]

- ①京葉地区（千葉市、市原市、習志野市、八千代市、船橋市、市川市、浦安市）
- ②東葛地区（松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市）
- ③印旛地区（佐倉市、成田市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町、印旛村、本埜村）
- ④香取・海匝地区（香取市、銚子市、旭市、匝瑳市、神埼町、東庄町、多古町）
- ⑤山武・長生地区（東金市、山武市、茂原市、大網白里町、九十九里町、横芝光町、芝山町、一宮町、白子町、長柄町、長南町、睦沢町、長生村）
- ⑥夷隅地区（勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）
- ⑦安房地区（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）
- ⑧君津地区（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）



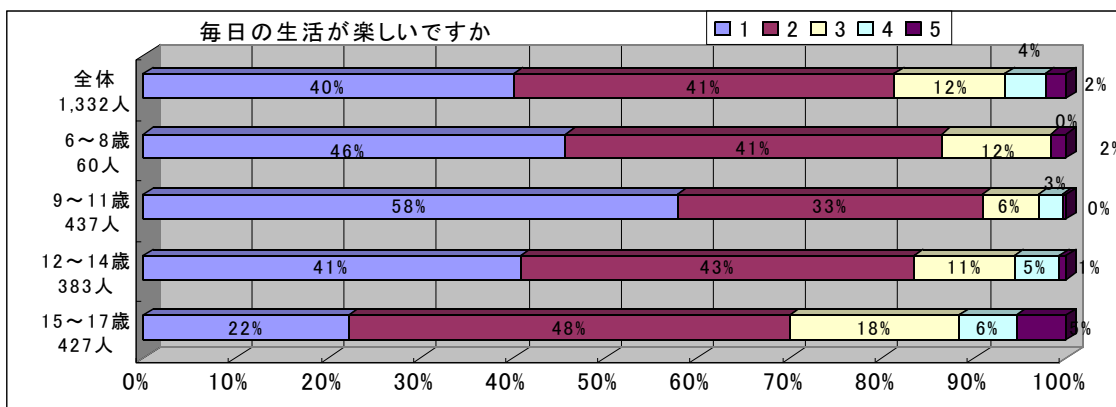
*子どもの回答には、地区名が未記入であったものが多くあったので、大人の回答により地区別数を集計した。

【日常生活】

(子ども)

4-1 あなたは毎日の生活が楽しいですか。

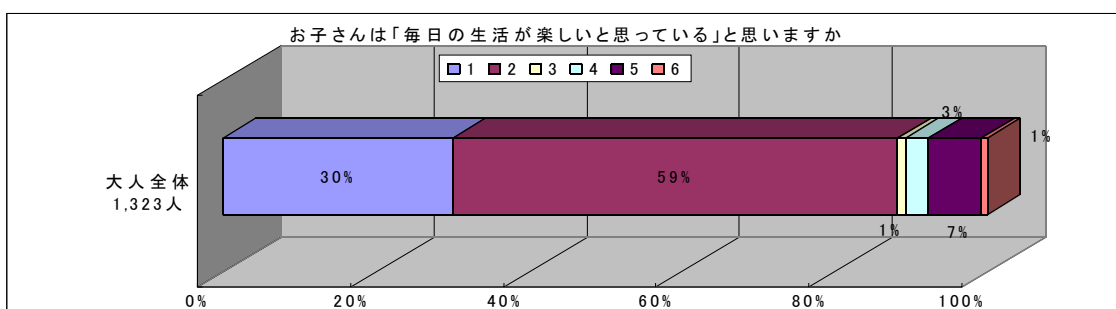
- 1 楽しい 2 まあまあ楽しい 3 どちらともいえない
4 あまり楽しくない 5 楽しくない



(大人)

4-2 あなたのお子さんは「毎日の生活が楽しいと思っている」と思いますか。

- 1 楽しいと思っていると思う
2 まあまあ楽しいと思っていると思う
3 どちらともいえない
4 あまり楽しくないと思っていると思う
5 楽しくないと思っていると思う
6 わからない



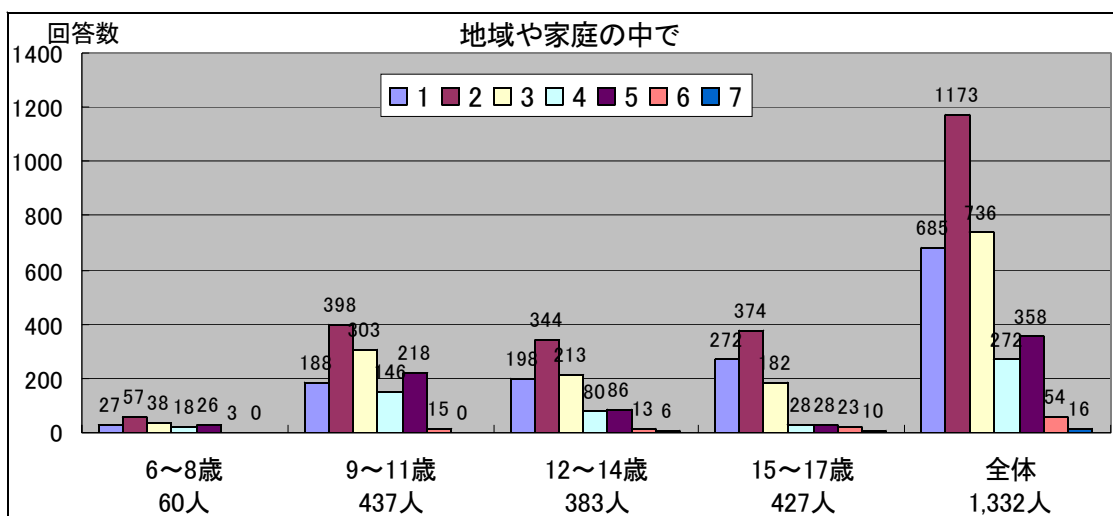
【集計状況】

- ・子どもでは、年齢が上がるに従って「楽しい」と回答する割合は少なくなる。
- ・大人（親）では、8割以上が、自分の子どもは日々の生活が楽しいと感じていると思っている。
- ・子どもの回答では、「楽しくない」が3%あったのに対して、親の回答では「うちの子は楽しいと感じていない」とするものが7%あった。

(子ども)

5-1 あなたが家庭や地域の中で楽しいと感じるのはどんなときですか。
(いくつでも)

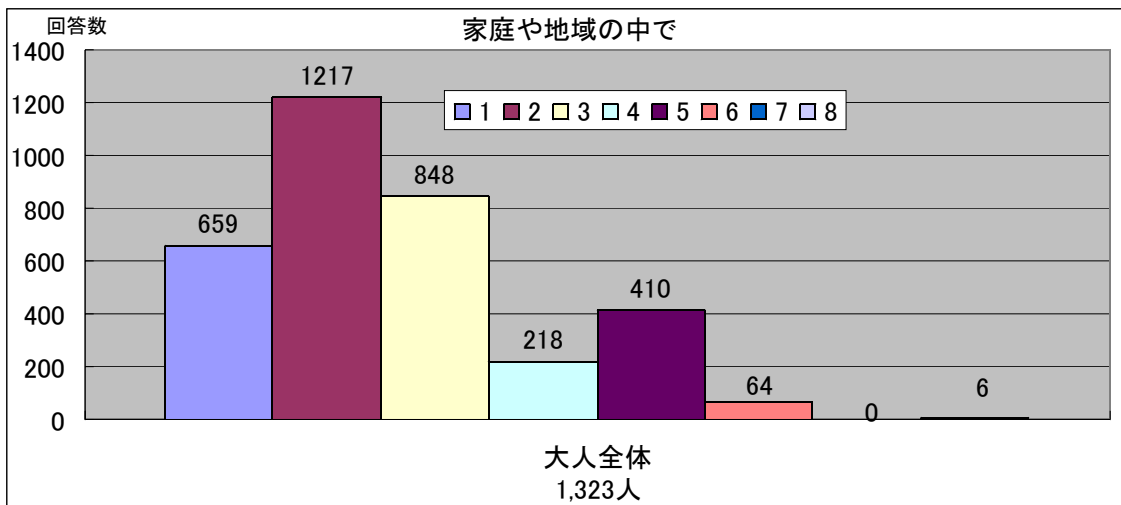
- 1 一人で好きなことをしているとき
- 2 友だちとしゃべったり遊んだりするとき
- 3 家族と話をしたり食事をしたりして、いっしょに過ごすとき
- 4 塾や習い事をしているとき
- 5 子ども会やサークル活動・地域の行事などに参加しているとき
- 6 その他 ()
- 7 楽しいと感じることはない



(大人)

5-2 あなたは、お子さんが家庭や地域の中で楽しいと感じるのは、どんなときだと思いますか。(いくつでも)

- 1 一人で好きなことをしているとき
- 2 友だちとしゃべったり遊んだりするとき
- 3 家族と話をしたり食事をしたりして、いっしょに過ごすとき
- 4 塾や習い事をしているとき
- 5 子ども会やサークル活動・地域の行事などに参加しているとき
- 6 その他 ()
- 7 楽しいと感じることはないと思う
- 8 わからない



【集計状況】

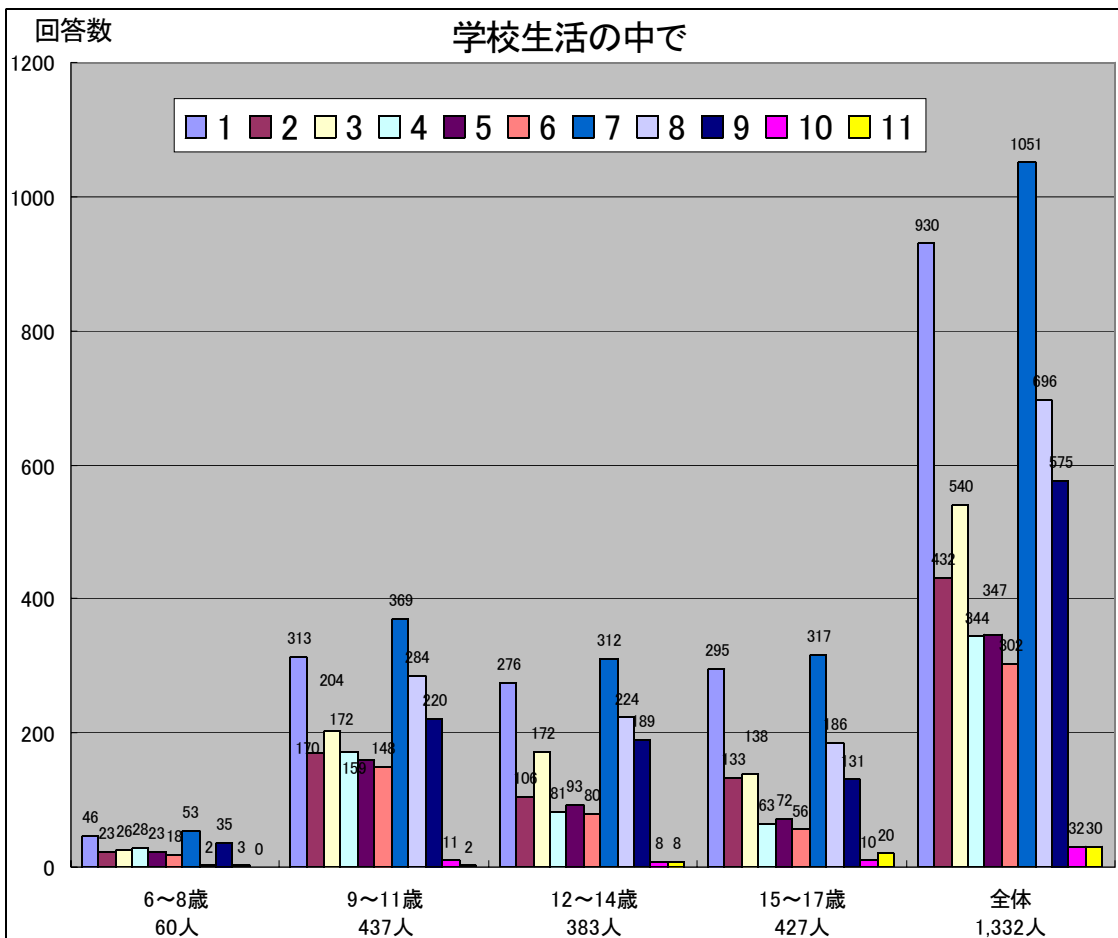
- ・子どもでは、年齢が上がるに従って「一人の時間」を楽しんでいる割合が増える。
- ・大人（親）の回答では、「一人で」の割合が子どもの回答よりやや少なくなる。

(子ども)

6-1 **あなたが学校生活の中で、楽しいと感じるのはどんなときですか。**

(いくつでも)

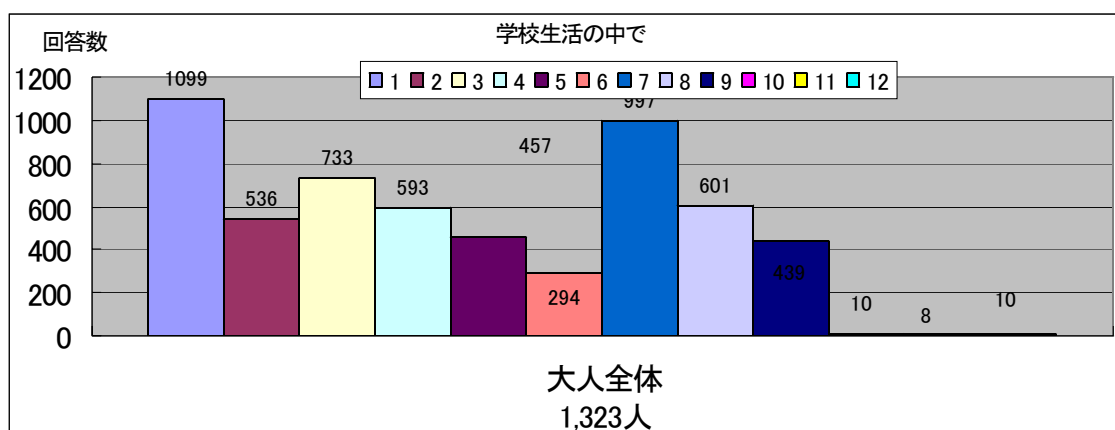
- 1 友だちや先生と仲良くしているとき
- 2 授業がよくわかるとき
- 3 授業の内容や先生の話が、興味が持てておもしろいとき
- 4 自分の意見や考えを発表して、先生や友だちに認められたりほめられたりしたとき
- 5 クラスや学校の行事・活動などで自分の意見が活かされたとき
- 6 委員会活動などで、他のクラスや他の学年の人たちといっしょに活動するとき
- 7 休み時間や放課後に、友だちとしゃべったり遊んだりするとき
- 8 部活動(クラブ活動)をしているとき
- 9 テストで良い成績が取れたとき
- 10 その他()
- 11 楽しいと感じることはない



(大人)

6-2 あなたは、お子さんが学校生活の中で楽しいと感じるのは、どんなときだと思いますか。(いくつでも)

- 1 友達関係、先生との関係がうまくいっているとき
- 2 授業がよくわかるとき
- 3 授業の内容や先生の話が、興味が持てておもしろいとき
- 4 自分の意見や考えを発表して、先生や仲間に認められたりほめられたりしたとき
- 5 クラスや学校の行事・活動などで自分の意見が活かされたとき
- 6 委員会活動などで、他のクラスや学年の人たちといっしょに活動するとき
- 7 休み時間や放課後に、友だちとしゃべったり遊んだりするとき
- 8 部活動(クラブ活動)をしているとき
- 9 テストで良い成績が取れたとき
- 10 その他()
- 11 楽しいと感じることはないと思う
- 12 わからない



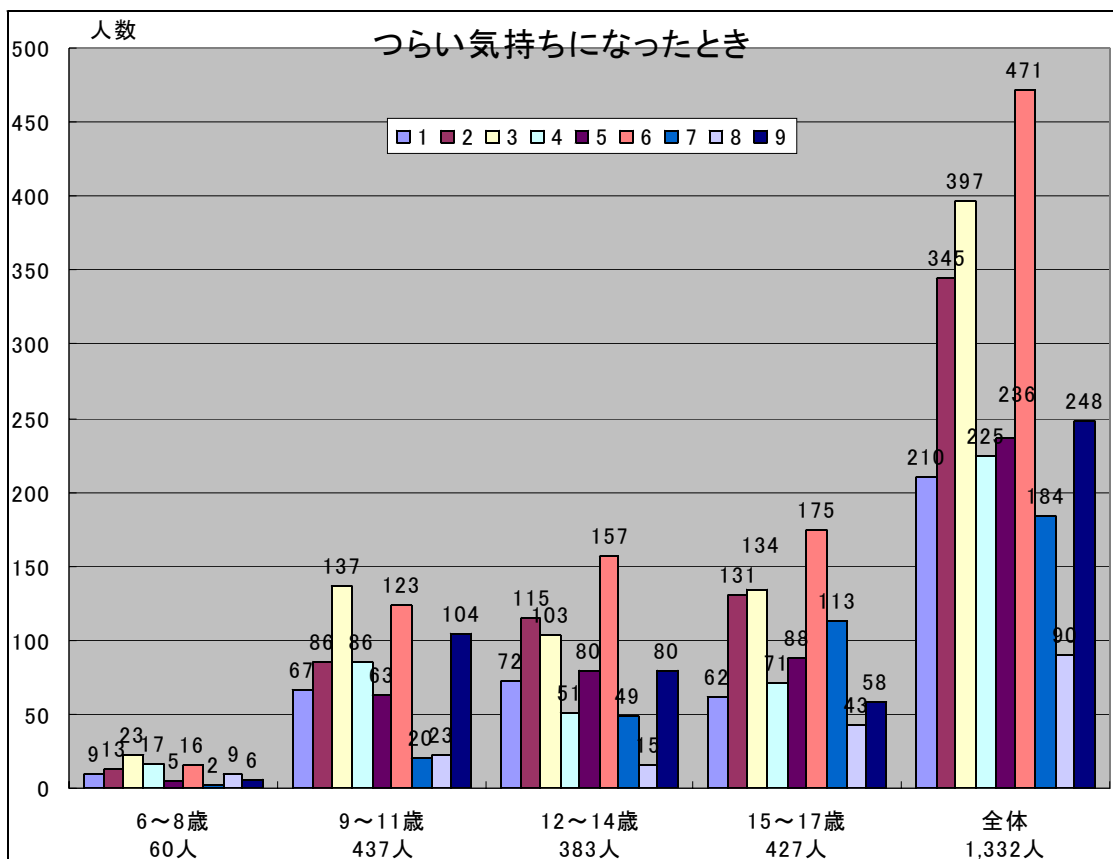
【集計状況】

- ・子どもの回答では、勉強に関することを大切に思っているものが多い。
- ・子どもの意見表明に関係する4番~6番の回答は、子どもの年齢が上がるにつれ少なくなっていく。
- ・大人(親)の回答は、子どもの回答とほぼ同様の傾向を示している。

(子ども)

7-1 あなたはつらい気持ちになったことはありますか。(いくつでも)

- 1 親や家族と仲良くなって、つらい気持ちになった
- 2 友だちや先生と仲良くなって、つらい気持ちになった
- 3 授業がよくわからなくて、つらい気持ちになった
- 4 自分の意見が聞いてもらえずに、つらい気持ちになった
- 5 部活動(クラブ活動)の中で練習などがきびしくて、つらい気持ちになった
- 6 テストの点数が悪くて、つらい気持ちになった
- 7 受験や進路のことでうまくいわずに、つらい気持ちになった
- 8 その他の理由で、つらい気持ちになった()
- 9 つらい気持ちになったことはない



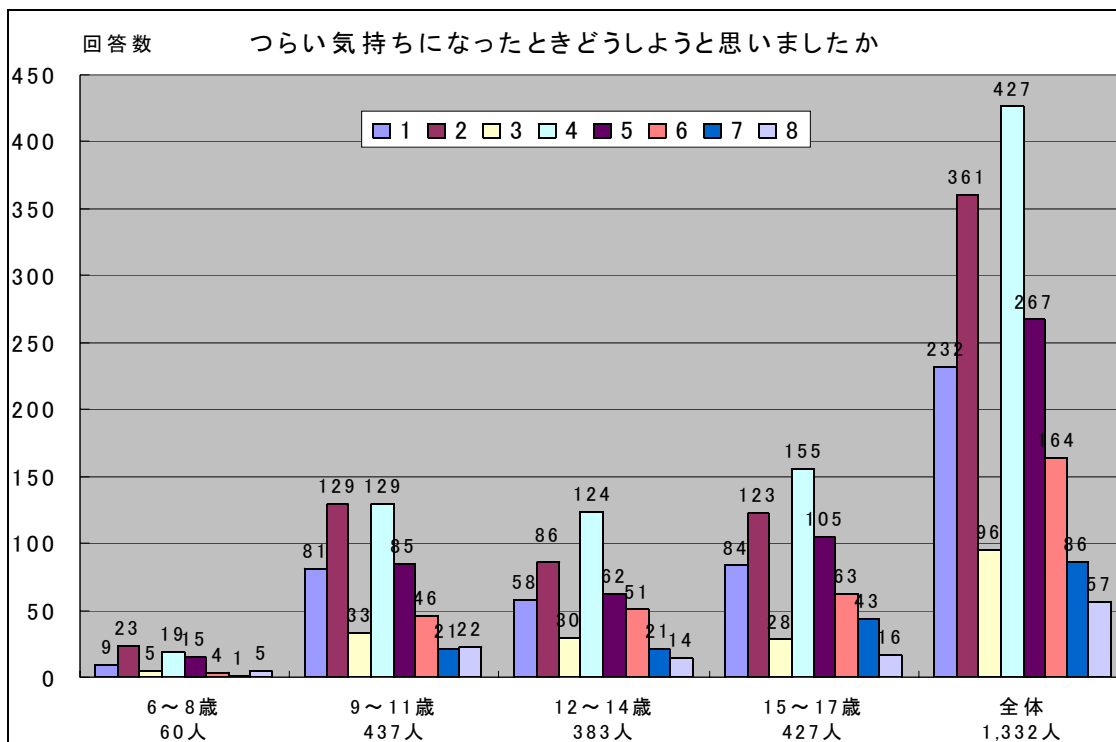
【集計状況】

- ・勉強に関すること(授業・テスト)をあげるものが多い。
- ・意見表明に関する回答(4番)は年齢が上がるにつれ少なくなっていく。

(子ども)

8-1 前の質問でつらい気持ちになったことがあると答えた人に聞きます。つらい気持ちになったとき、あなたはどのようにお考えでしたか。(いくつか)

- 1 相手の人と話し合っ、何とかしようと思った
- 2 誰かに相談して、助けてもらおうと思った
- 3 自分は悪くないから、気にしなかった
- 4 自分がしっかりしなきゃ、と思った
- 5 自分が悪いと思って、がまんした
- 6 相談してもしかたないから、相談しなかった
- 7 生きているのがいやになった
- 8 その他 ()



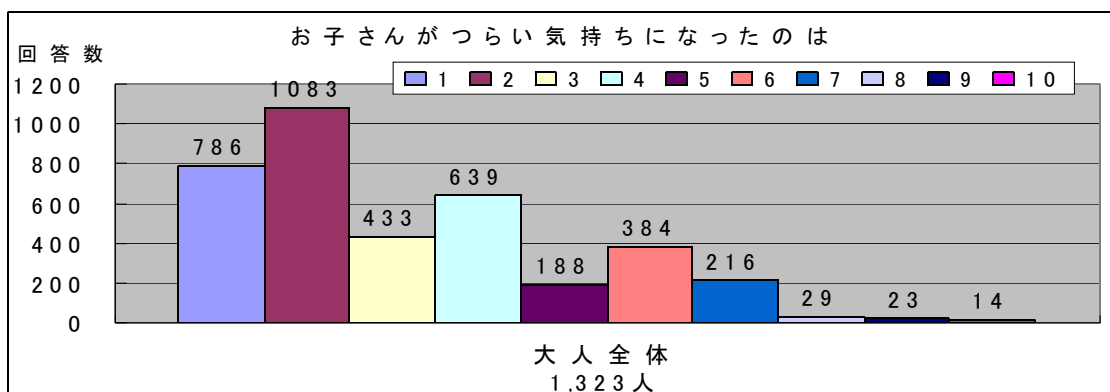
〔集計状況〕

- ・自分に責任を感じる（4番以降）子どもたちが年齢が上がるにつれ増えている。
- ・数は少ないが7番は年齢とともにが増えていく。

(大人)

7-2 あなたは、お子さんがつらい気持ちになったとしたら、それはどんなときだと思いますか。(いくつでも)

- 1 親や家族との関係がうまくいかなかったとき
- 2 友だちや先生との関係がうまくいかなかったとき
- 3 授業がよくわからなかったとき
- 4 自分の意見が聞いてもらえなかったとき
- 5 部活動(クラブ活動)の中で練習などがきびしかったとき
- 6 テストの点数が悪かったとき
- 7 受験や進路のことでうまくいかなかったとき
- 8 その他()
- 9 つらい気持ちになったことはないと思う
- 10 わかならい



【集計状況】

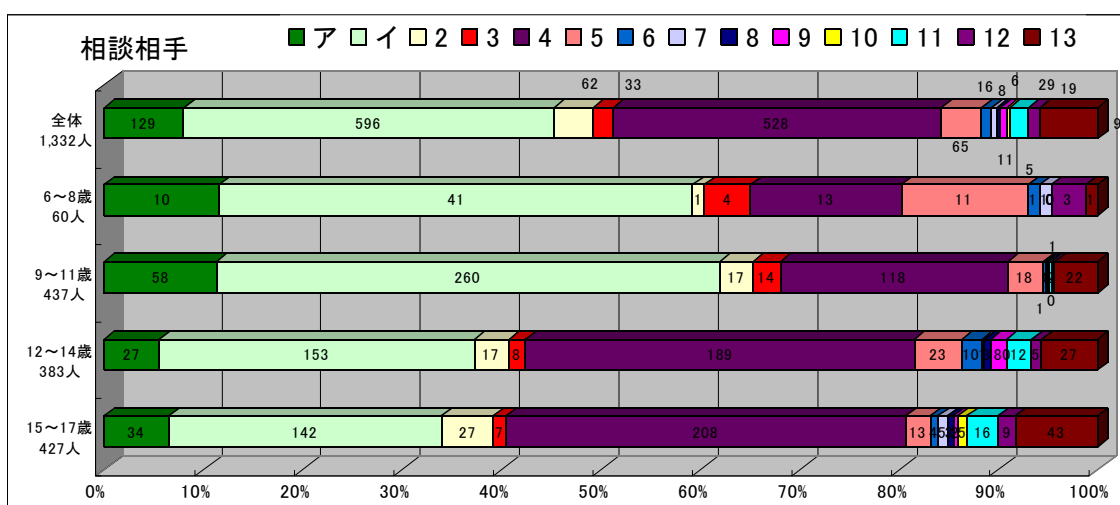
- ・子ども以上に、人間関係を気遣う回答が多くなっている。
- ・大人(親)の回答では、子どもの回答に比べ6番(テストの点数)の比率が少ない。

【相談相手、居場所】

(子ども)

9-1 あなたは困ったこと心配なことがあったときに一番よく相談するのは誰ですか。(一人選んでください。)

- 1 親 (ア 父 イ 母)
- 2 兄弟姉妹
- 3 祖父母や親戚の人 (おじいさん・おばあさん・おじさん・おばさん・いとこなど)
- 4 友だち
- 5 担任の先生
- 6 保健室の先生
- 7 それ以外の先生
- 8 スクール・カウンセラー
- 9 塾の先生・スポーツクラブのコーチ
- 10 電話相談
- 11 メールやチャットなどの仲間
- 12 その他 ()
- 13 相談する人はいない



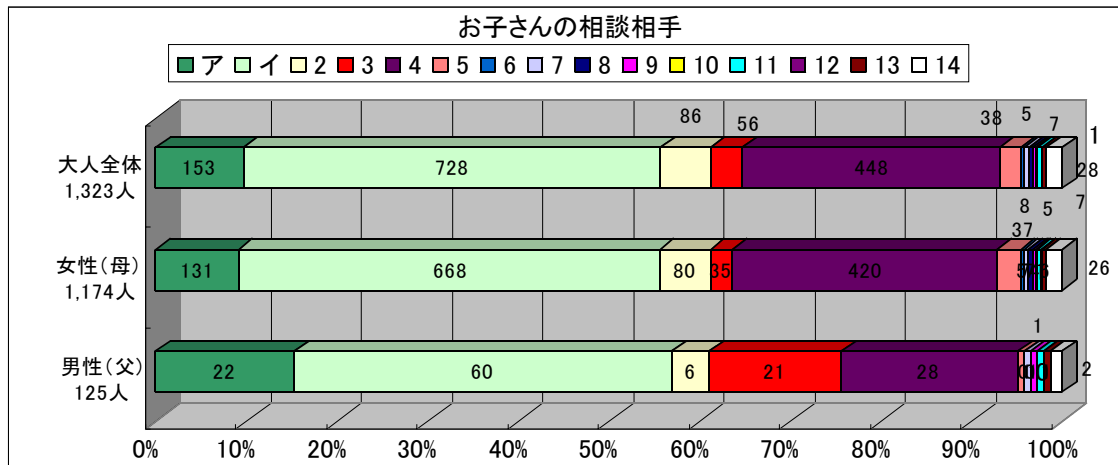
【集計状況】

- ・年少児は大人（親や先生など）を相談相手とする回答が多い。
- ・年齢が上がる、「友だち」が「母親」を逆転していく。

(大人)

9-2 あなたは、お子さんが心配事や悩み事があったときに誰に一番相談していると思いますか。(一人選んでください)

- 1 親 (ア 父 イ 母)
- 2 兄弟姉妹
- 3 祖父母や親戚の人
- 4 友だち
- 5 担任の先生
- 6 保健室の先生
- 7 それ以外の先生
- 8 スクール・カウンセラー
- 9 塾の先生・スポーツクラブのコーチ
- 10 電話相談
- 11 メールやチャットなどの仲間
- 12 その他 ()
- 13 相談する人はいない
- 14 わからない



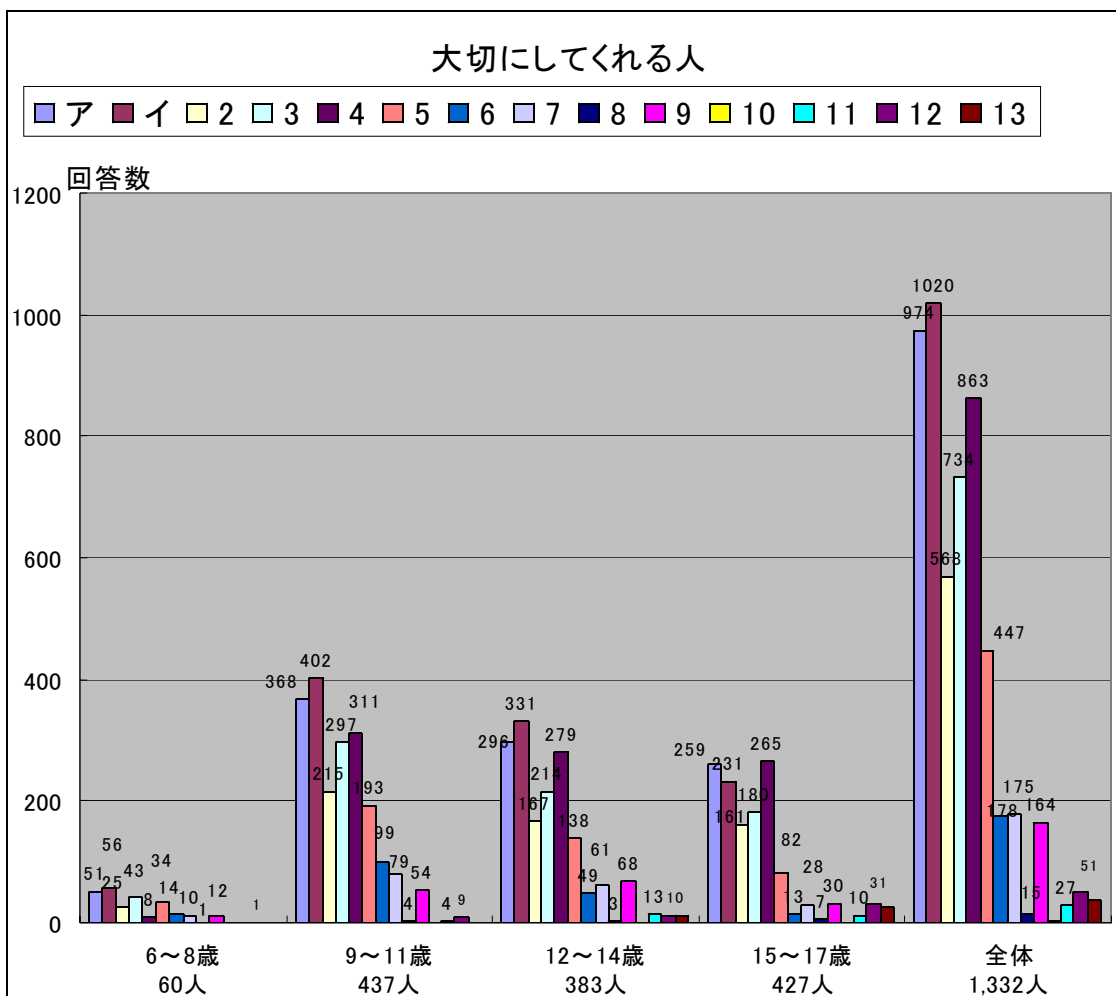
【集計状況】

- ・大人（親）は、自らを良き相談者とする回答が多い。
- ・男性（父）の回答では、3番（祖父母・親戚）の割合が、「父」と拮抗している。

(子ども)

10-1 あなたのことを大切にしてくれる人はいますか。(いくつでも)

- 1 親 (ア 父 イ 母) 2 兄弟姉妹 3 祖父母や親戚の人
 4 友だち 5 担任の先生 6 保健室の先生
 7 それ以外の先生 8 スクール・カウンセラー
 9 塾の先生・スポーツクラブのコーチ 10 電話相談の人
 11 メールやチャットの仲間
 12 その他 () 13 いない



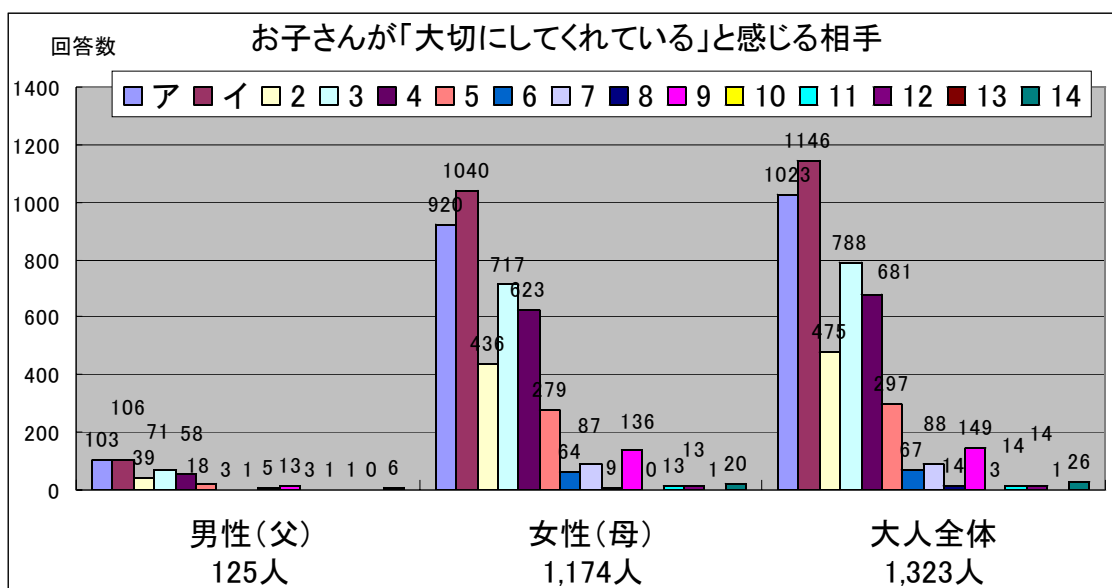
【集計状況】

- ・年齢とともに「友だち」を選択する回答が増える。。
- ・「いない」とする回答も少なからず存在する。
- ・15歳～17歳で、父と母の割合がそれまでと逆転する
- ・祖父母や親戚の人をあげる回答もすべての年齢層において比較的多い。

(大人)

10-2 あなたは、お子さんが「自分は大切にされていると感じる」相手は誰だと思えますか。(いくつでも)

- | | | |
|--------------------|-----------------|------------|
| 1 親 (ア 父 イ 母) | 2 兄弟姉妹 | 3 祖父母や親戚の人 |
| 4 友だち | 5 担任の先生 | 6 保健室の先生 |
| 7 それ以外の先生 | 8 スクール・カウンセラー | |
| 9 塾の先生・スポーツクラブのコーチ | 10 電話相談 | |
| 11 メールやチャットなどの仲間 | | |
| 12 その他 () | 13 そう感じられる人はいない | |
| 14 わからない | | |



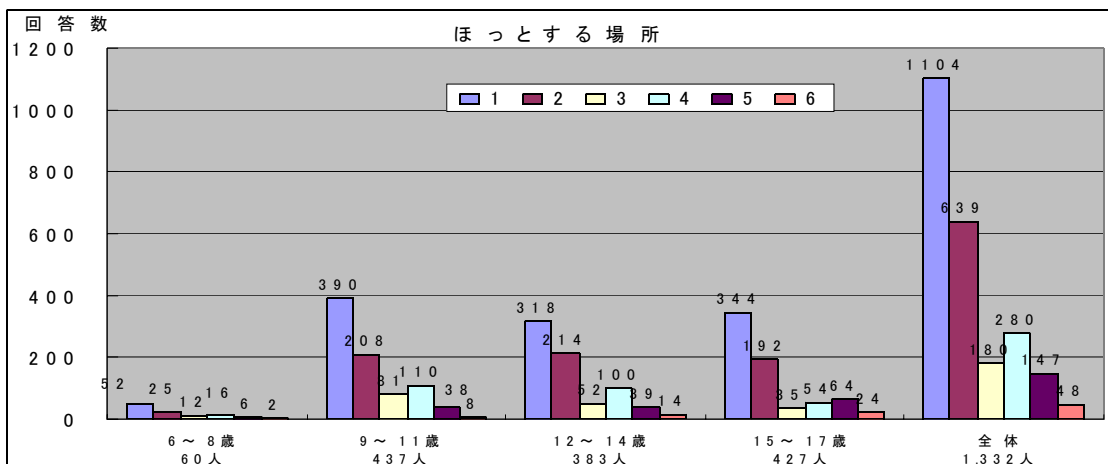
【集計状況】

- ・ 自分を選択していない回答も少なからず認められた。
- ・ 母が父を、父が母を、つまり「自分ではない方の親」を選んでいる数も少なくない。

(子ども)

11-1 あなたには、ほっとする場所がありますか。(いくつでも)

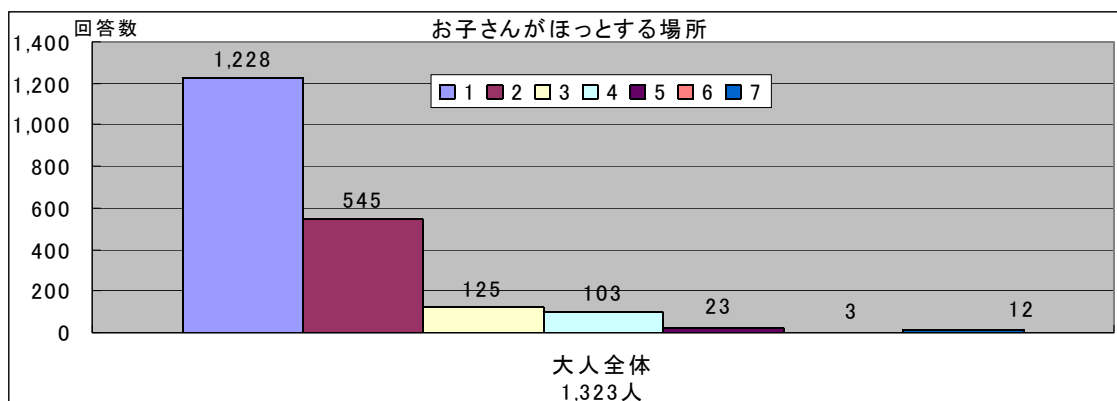
- 1 自分の家 2 友だちがいるところ 3 親戚の家
4 学校 5 その他 () 6 ない



(大人)

11-2 あなたは、お子さんがほっとする場所はどこだと思いますか。(いくつでも)

- 1 自分の家 2 友だちがいるところ 3 親戚の家
4 学校 5 その他 () 6 ない 7 わからない



【集計状況】

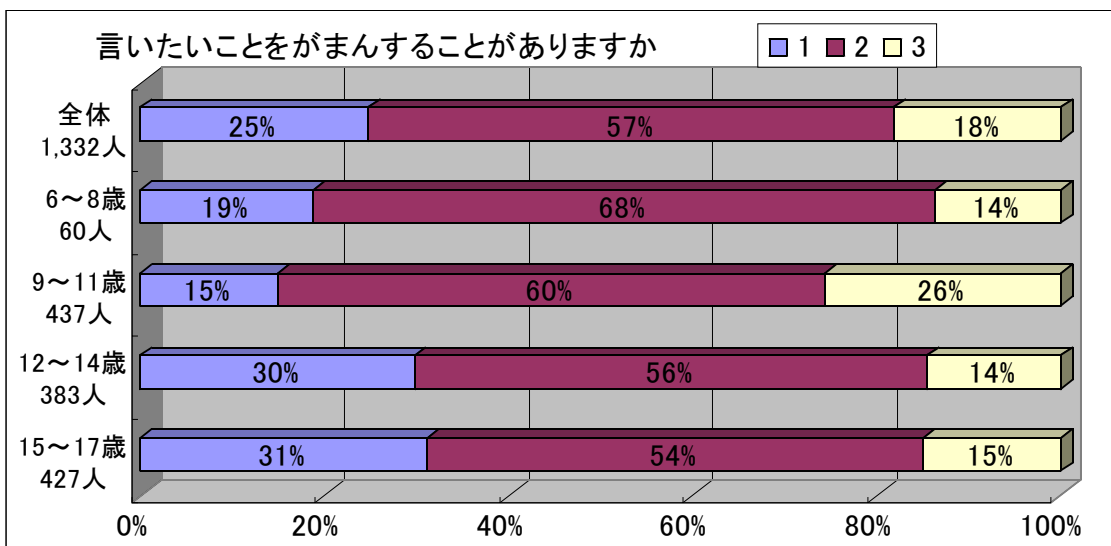
- ・その他の中で、多かったのは、「一人になれる場所」、「トイレ」などであった。
- ・「ない」を選ぶ回答は、すべての子どもの年齢層において存在した。
- ・「自分の家」をあげる回答は大人（親）の方が子どもより比率が高い。

【意見表明権、傾聴姿勢】

(子ども)

12-1 あなたは、^{かてい}家庭や^{がっこう}学校で言いたいことをがまんすることができますか。

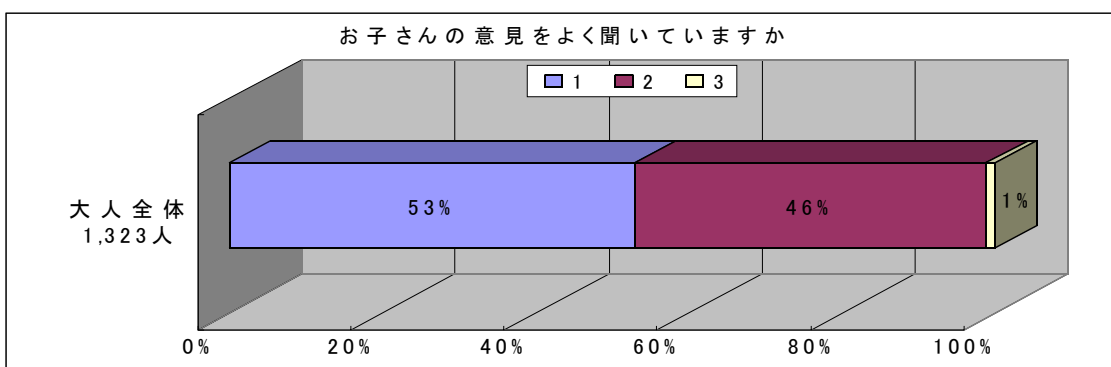
1 よくある 2 たまにある 3 ない



(大人)

12-2 あなたは、ふだんお子さんの意見を聞くようにしていますか。

1 よく聞いている 2 少しは聞いている 3 聞いていない



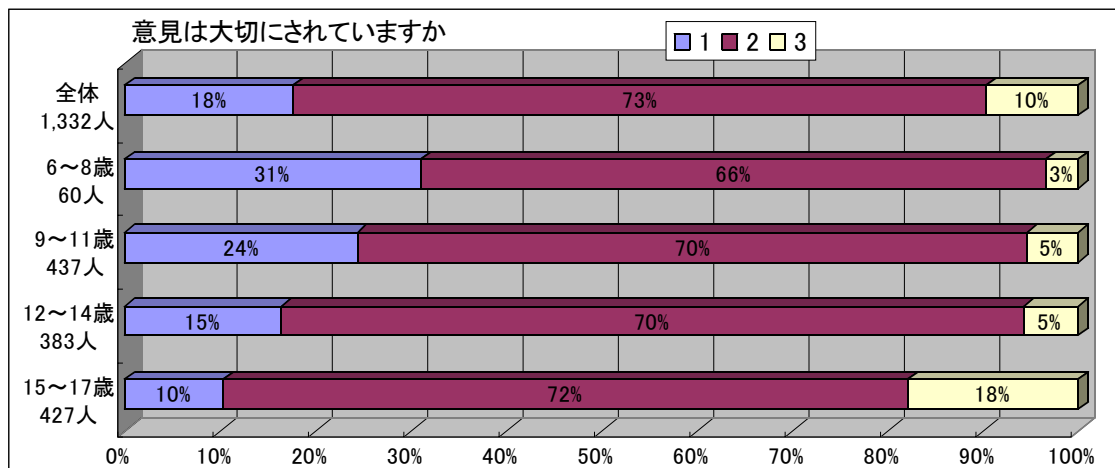
【集計状況】

- ・言いたいことをがまんしている子どもが年齢とともに増え、高校生段階になると三分の一ほどにもなっている。
- ・大人（親）は子どもの意見を「聞いている」との回答が圧倒的である。

(子ども)

13-1 家庭や学校であなたの意見は大切にされていますか。

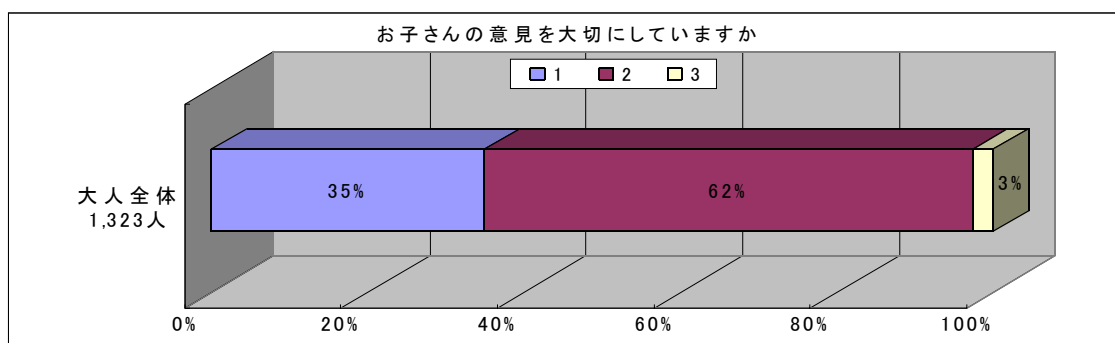
- 1 大切にされている
- 2 ある程度大切にされている
- 3 大切にされていない



(大人)

13-2 あなたは、ふだんお子さんの意見を大切にしていますか。

- 1 大切にしている
- 2 ある程度大切にしている
- 3 大切にしていない



【集計状況】

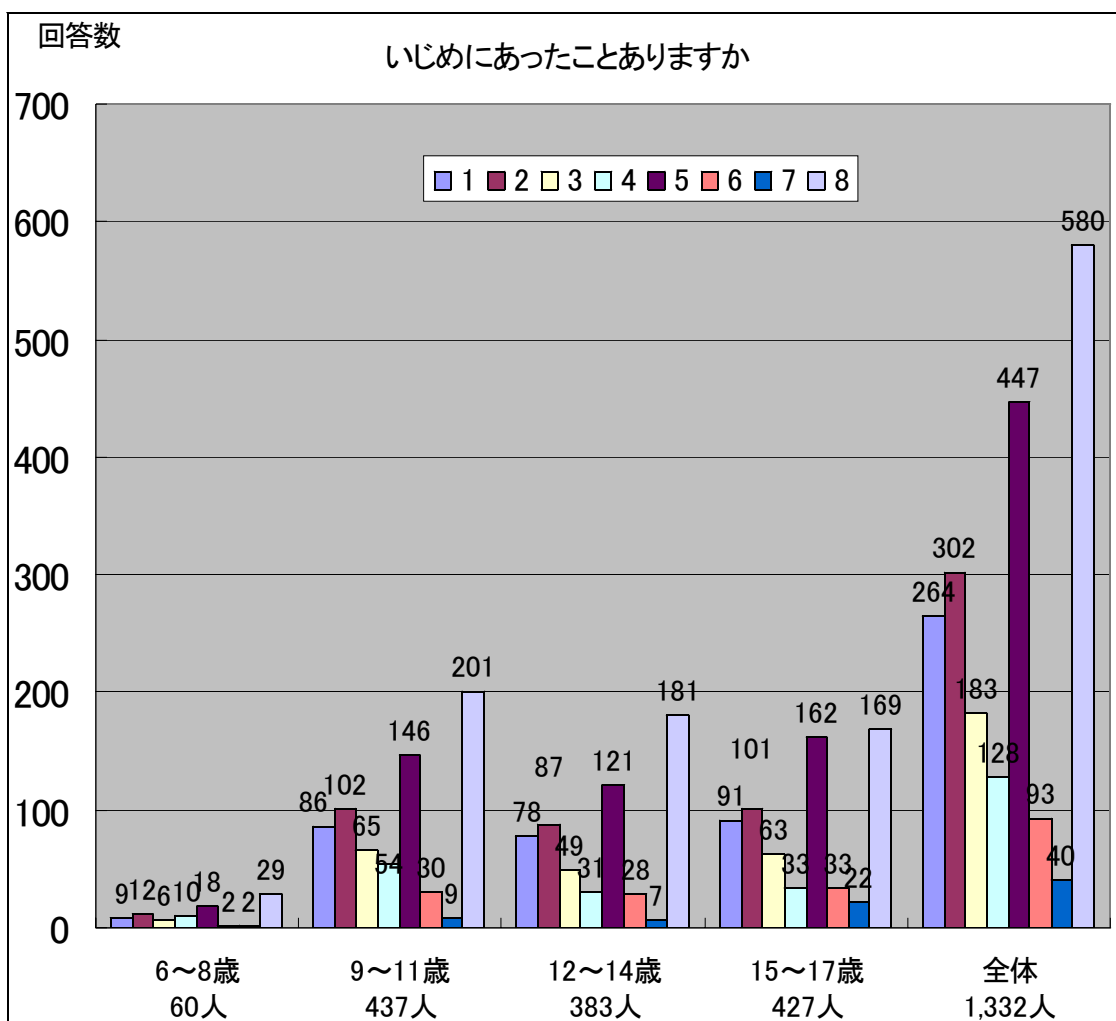
- ・年齢があがるにつれ「意見が大切にされている」と答える子どもが減少している。
- ・大人（親）の回答では、「大切にしていない」は2%に過ぎない。

【いじめ、暴力】

(子ども)

14-1 あなたは、つぎのようないじめにあったことはありますか。(いくつでも)

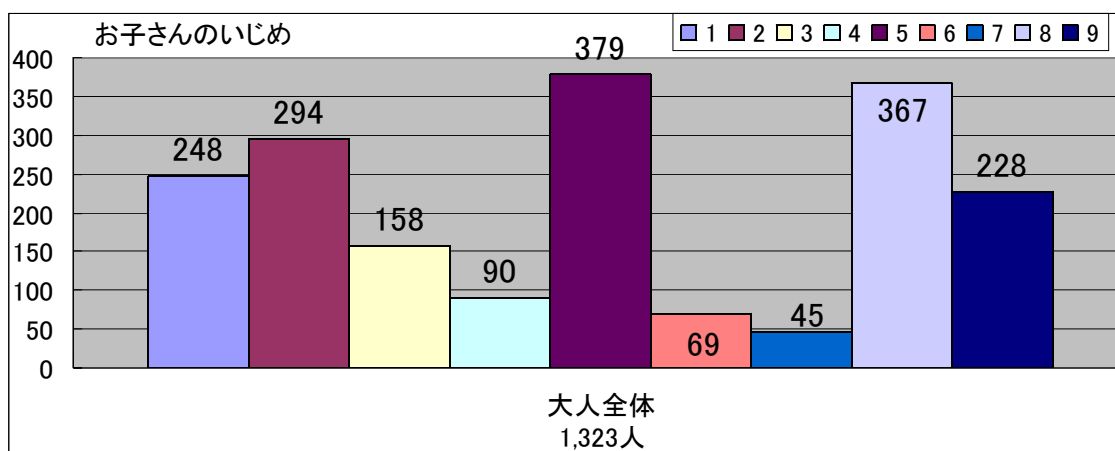
- | | |
|-----------|---------------|
| 1 無視された | 2 仲間はずれにされた |
| 3 物をかくされた | 4 暴力を受けた |
| 5 悪口を言われた | 6 落書きをされた |
| 7 その他 () | 8 いじめられたことはない |



(大人)

14-2 あなたのお子さんは、つぎのようないじめにあったことはありますか。(いくつでも)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 無視された | 2 仲間はずれにされた |
| 3 物をかくされた | 4 暴力を受けた |
| 5 悪口を言われた | 6 落書きをされた |
| 7 その他 () | |
| 8 いじめられたことはない | 9 わからない |



【集計状況】

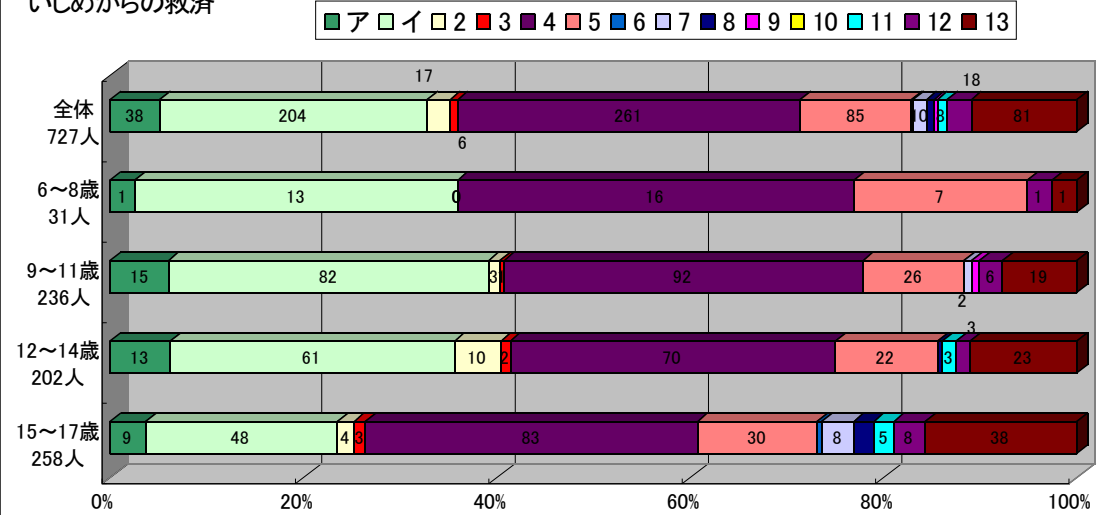
- ・「いじめられたことはない」とする回答は、すべての子ども年齢層で半数以下である。
- ・大人（親）の回答傾向も、子どもとほぼ同様の傾向がうかがえるが、「わからない」とする回答も約17%あった。

(子ども)

15-1 いじめにあったことのある人に聞きます。いじめられたとき一番助けてくれたのは誰ですか。(一人選んでください)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 親 (ア 父 イ 母) | 2 兄弟姉妹 |
| 3 祖父母や親戚の人 | 4 友だち |
| 5 担任の先生 | 6 保健室の先生 |
| 7 それ以外の先生 | 8 スクール・カウンセラー |
| 9 塾の先生・スポーツクラブのコーチ | |
| 10 電話相談の人 | 11 メールやチャットの仲間 |
| 12 その他 () | 13 いない |

いじめからの救済



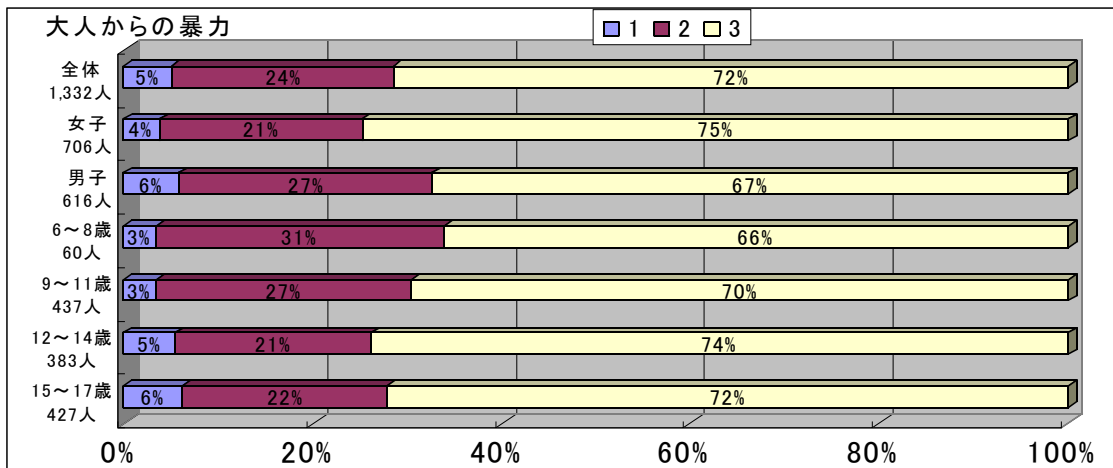
〔集計状況〕

- ・年齢が上がるにつれて、「親 (父・母)」と回答する子どもが減っている。
- ・「いない」という回答が、年齢とともに多くなる。

(子ども)

16-1 あなたは今までに、おとなから暴力(なぐる・けるなど)を受けたことがありますか。

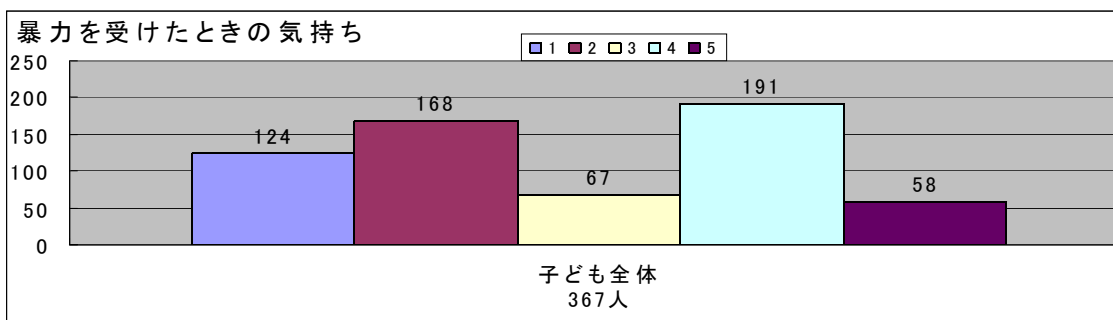
- 1 よくあった 2 ときどきあった 3 なかった



(子ども)

17-1 前の質問で1または2を選んだ人に聞きます。暴力を受けたときにどのように感じましたか。(いくつでも)

- 1 悲しくなった 2 自分がよくないことをしたと思った
3 自分のためにしてくれていると感じた 4 腹が立った
5 その他 ()



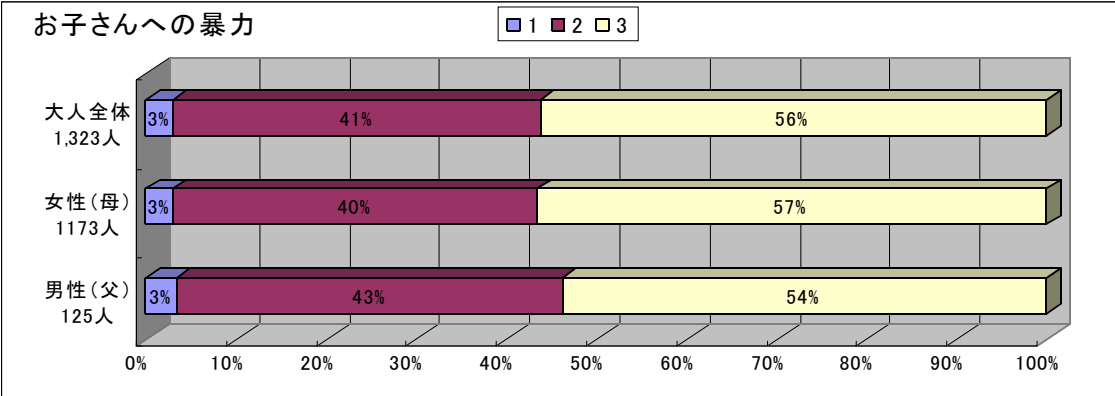
【集計状況】

- ・暴力を受けたとする回答は男子が女子に対してやや多く、年齢では小学生段階の回答が多かった。
- ・暴力を受けたときの気持ちでは、自分の責任(2番・3番)の回答も多かった。

(大人)

16-2 あなたは今までに、お子さんに暴力（なぐる・けるなど）を加えたことがありますか。

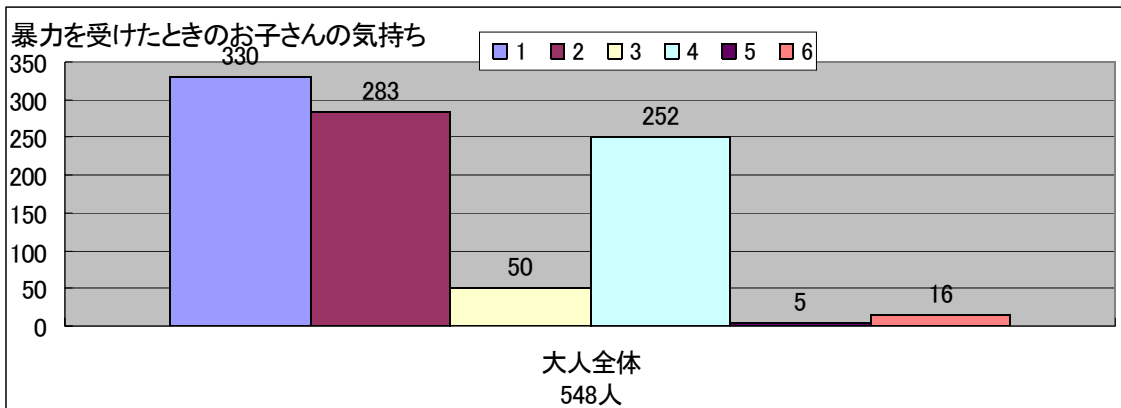
- 1 よくあった 2 ときどきあった 3 なかった



(大人)

17-2 前の質問で1または2を選んだ人に聞きます。お子さんは暴力を受けたときどのように感じたと思いますか。(いくつでも)

- 1 悲しくなったと思う 2 自分がよくないことをしたと感じたと思う
3 自分のためにしてくれていると感じたと思う 4 腹が立ったと思う
5 その他 () 6 わからない



【集計状況】

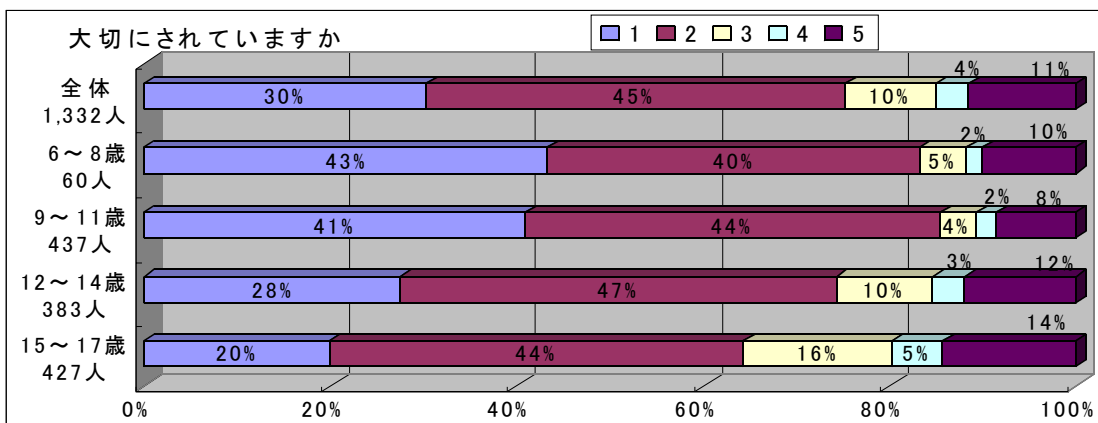
- ・暴力を加えたとする回答は、子どもの「受けた」とする回答より多かった。
- ・「悲しくなった」と思うとする回答が最も多くなるなど、子どもの受け止め方との違いが見られた。

【自尊感情、自己肯定感】

(子ども)

18-1 あなたは自分が大切にされていると感じますか。

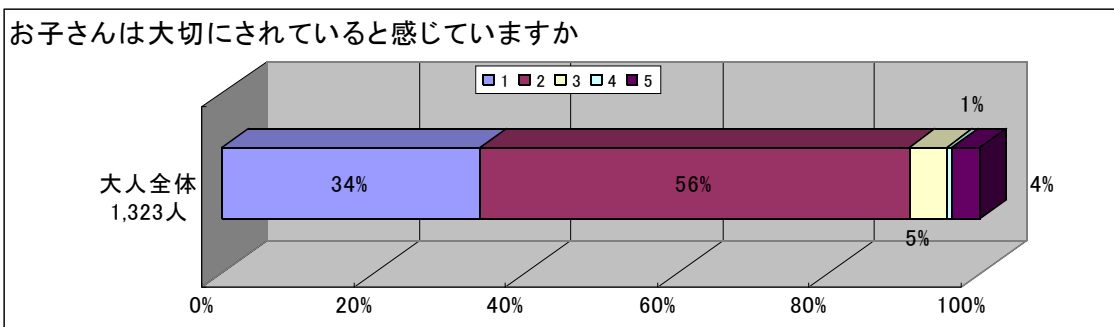
- | | |
|---------------|------------|
| 1 いつも感じている | 2 ときどき感じる |
| 3 あまり感じることはない | 4 まったく感じない |
| 5 わからない | |



(大人)

18-2 あなたのお子さんは「自分が大切にされている」と感じていると思いますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 いつも感じていると思う | 2 ときどき感じると思う |
| 3 あまり感じることはないと思う | 4 まったく感じていないと思う |
| 5 わからない | |



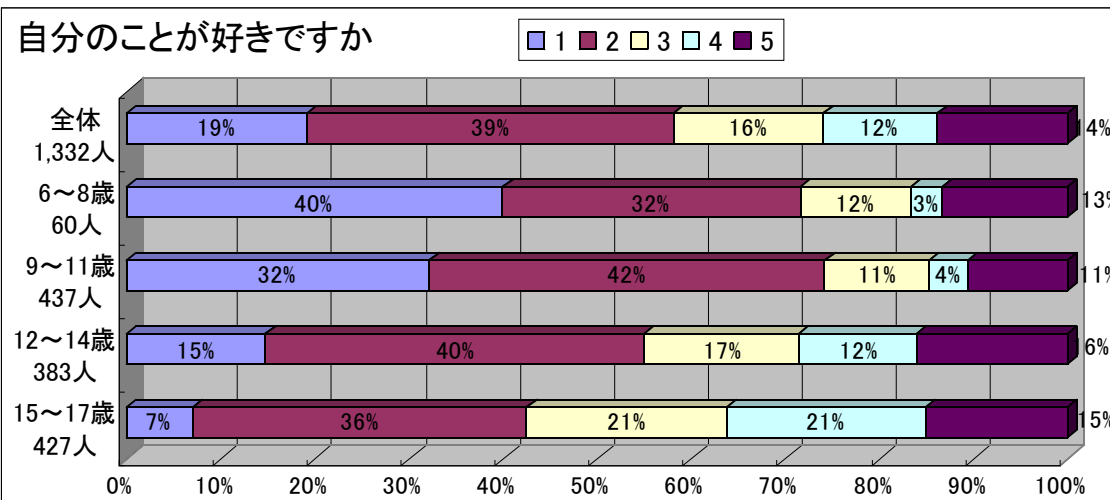
【集計状況】

- ・自分が大切にされているかどうか「わからない」とする回答は、子どもの回答が大人（親）のそれを大きく上回った。
- ・子どもでは、年齢に従い「大切にされている」の比重が減少していく。

(子ども)

19-1 あなたは自分のことが好きですか。

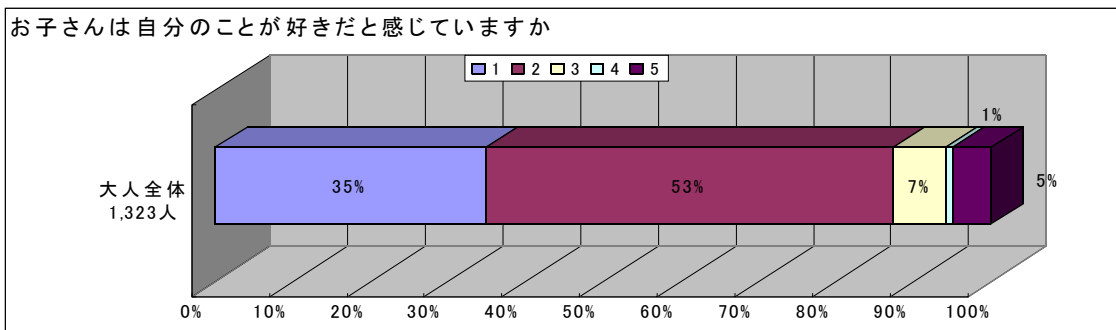
- | | |
|-------------|----------|
| 1 好き | 2 まあまあ好き |
| 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
| 5 わからない | |



(大人)

19-2 あなたのお子さんは「自分自身のことを好きだと感じている」と思いますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 好きだと思う | 2 まあまあ好きだと思う |
| 3 あまり好きではないと思う | 4 好きではないと思う |
| 5 わからない | |



【集計状況】

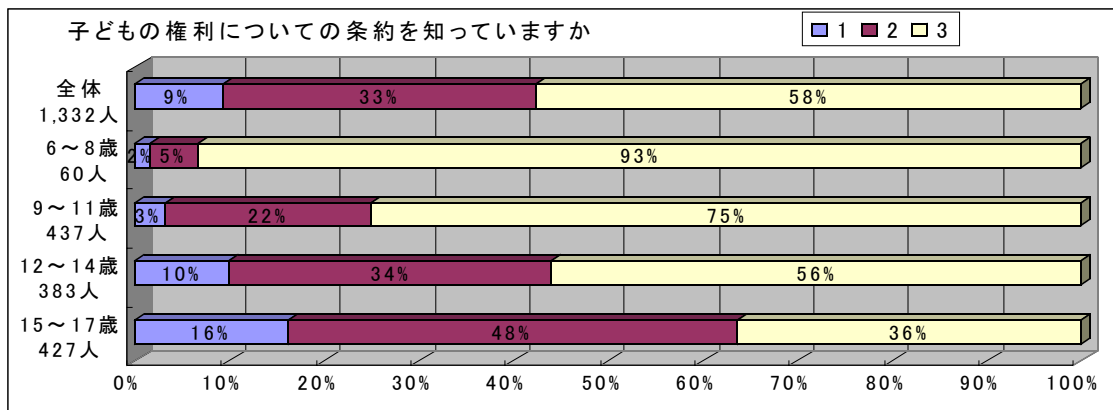
- ・「自分のことを好きだ」とする回答は年齢ともに少なくなっていく。
- ・大人（親）の回答では、9割近くの子供が「自分のことを好き（まあまあ好き）」と思っているとの数値となっている。

【子どもの権利】

(子ども)

20-1 あなたは、子どもの権利について国際的な条約があることを知っていますか。

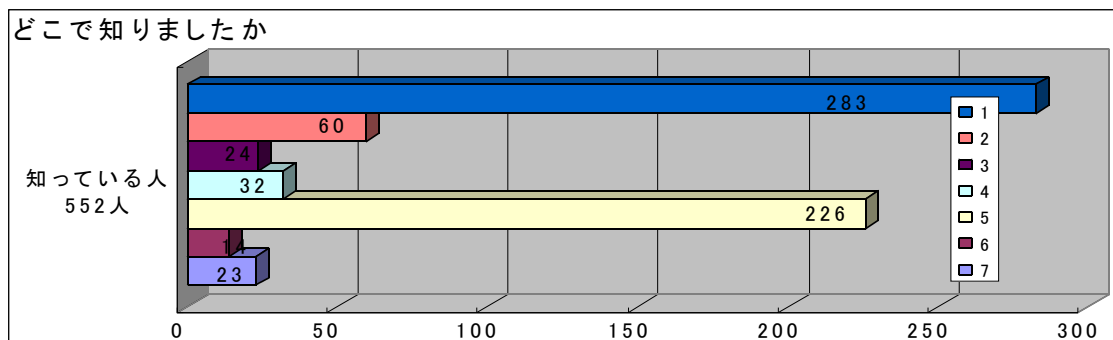
- 1 よく知っている 2 聞いたことがある
3 知らない (聞いたことがない)



(子ども)

21-1 前の質問で1または2と答えた人は、どのようにして知りましたか。(一つ選んでください。)

- 1 学校の授業で 2 家族から
3 友だちから 4 ポスター・パンフレットで
5 テレビ・新聞・雑誌などで 6 子どもの権利についての本で
7 その他 ()



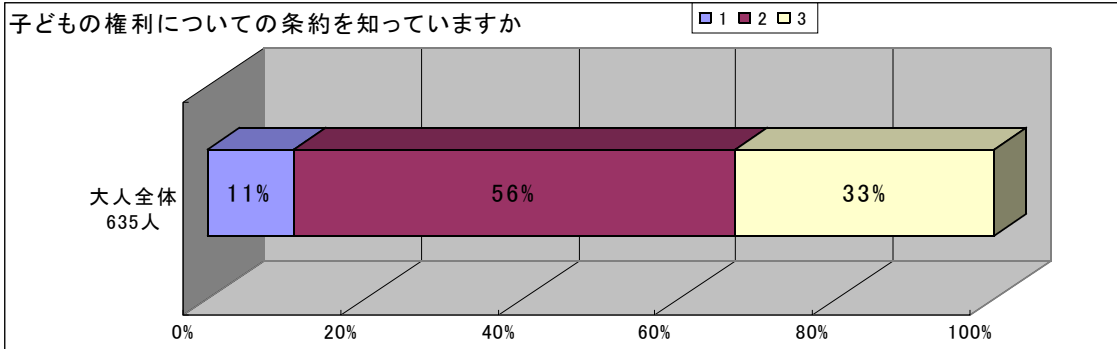
【集計状況】

- ・子どもの権利条約については中学生段階で半数以上が知らないと答えている。
- ・知る経路では、テレビ・新聞・雑誌などが学校に次いで多くなっている。

(大人)

20-2 あなたは、子どもの権利^{けんり}について国際的な条^{こくさいてき}約^{じょうやく}があることを知っていますか。

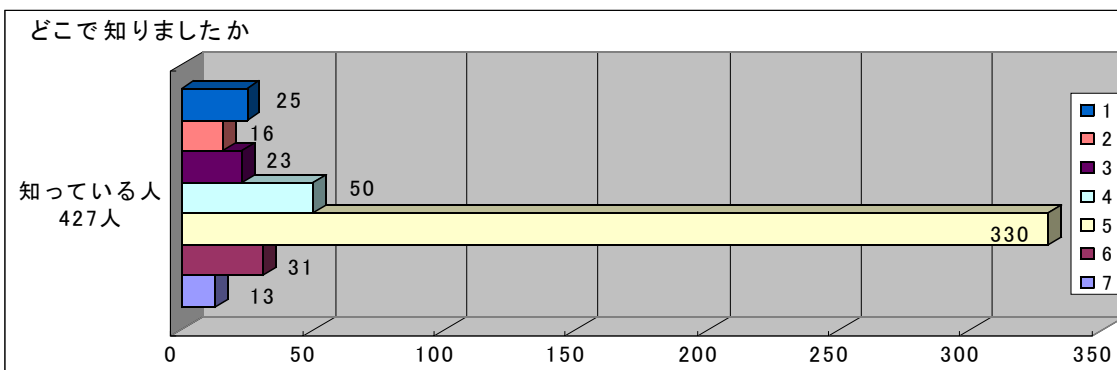
- 1 よく知っている 2 聞いたことがある
3 知らない（聞いたことがない）



(大人)

21-2 前の質問^{しつもん}で1または2と答えた人^{こた}は、どのようにして知りましたか。（一つ選んでください。）

- 1 子どもの頃^{がっこう}に学校^{じゅぎょう}の授業^{えら}で 2 家族^{かぞく}から
3 友だち^{ともだち}から 4 ポスター・パンフレット^{さんぷれっと}で
5 テレビ・新聞^{しんぶん}・雑誌^{ざっし}などで 6 子どもの権利^{けんり}についての本^{ほん}で
7 その他（ ）



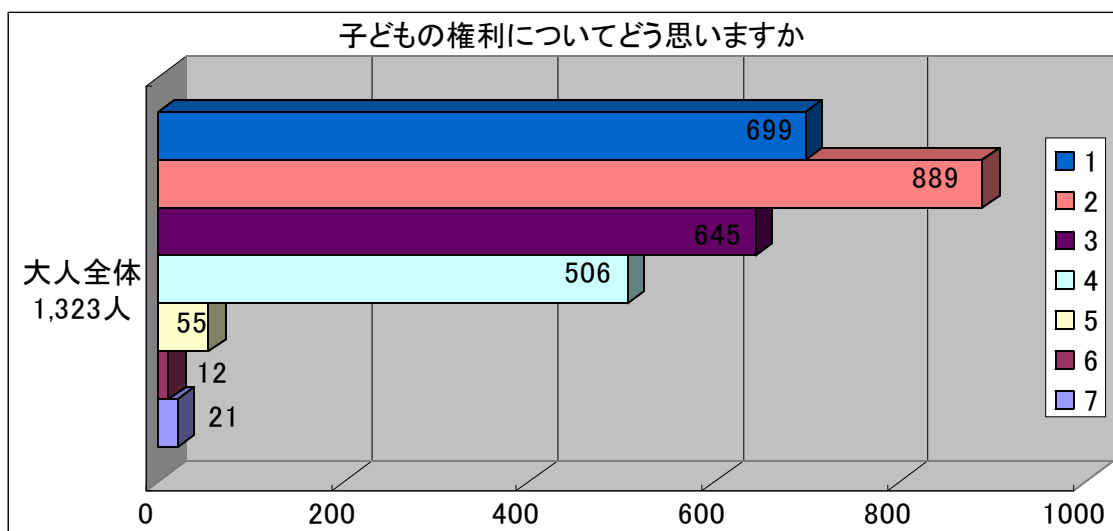
【集計状況】…「子どもの権利条約」に関する大人対象の質問は追加調査時のもの

- ・大人でも、「知らない」との回答が三分の一あった。
- ・知る経路では、テレビ・新聞・雑誌などが圧倒的であった。

(大人)

22 あなたは「子どもの権利」についてどう考えますか。(いくつでも)

- 1 すべての子どもには等しく「子どもの権利」があるということを、子どもたちにきちんと伝えなければいけない。
- 2 子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや「人権」の大切さを学ぶべきである。
- 3 まず、おとなが、一人ひとりの「子どもの権利」を守ることが大切である。
- 4 子どもに権利ばかりを教えるとわがままになるので、同時に義務や責任も教えないといけない。
- 5 義務を果たせない子どもに権利はないと思う。
- 6 その他 ()
- 7 わからない



【集計状況】

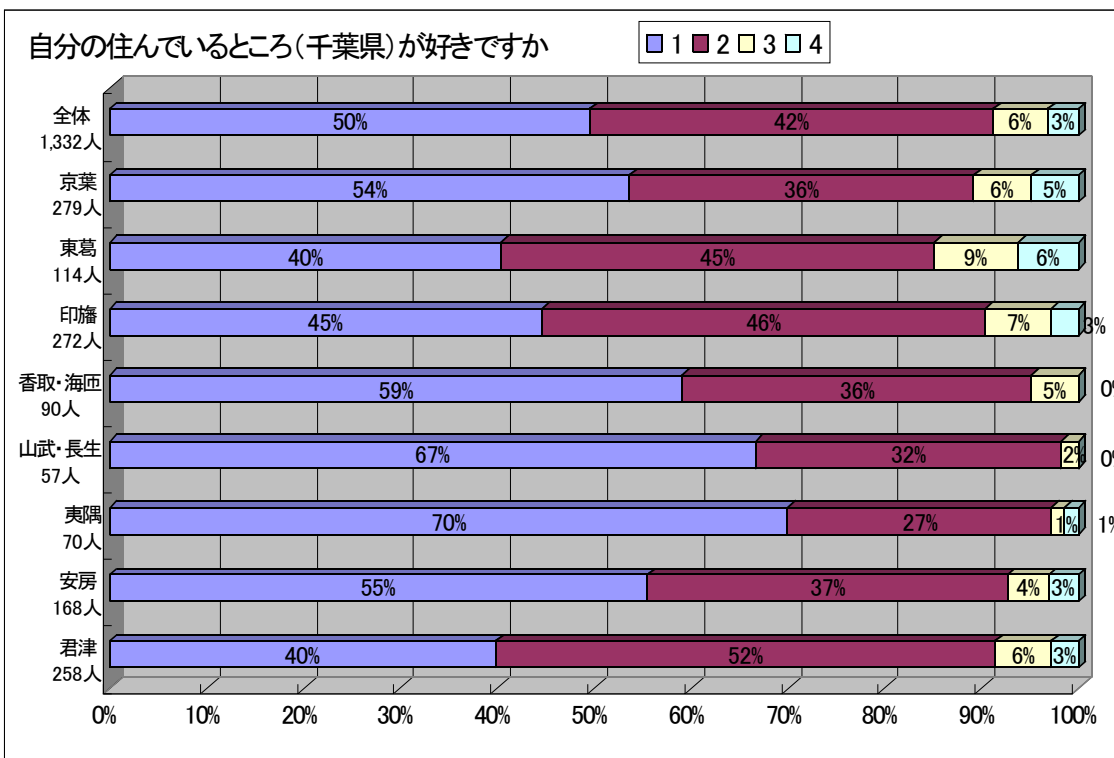
- ・ 1番～3番を選ぶ回答が多いものの、4番も4割近くの大人（親）が選択している。
- ・ 5番を選択する大人（親）も約4%存在する。

【その他】

(子ども)

23 あなたは、自分の^{じぶん}住^すんでいるところ(千葉県)^{ちばけん}が好きですか

- | | |
|-------------|----------|
| 1 好き | 2 まあまあ好き |
| 3 あまり好きではない | 4 好きではない |



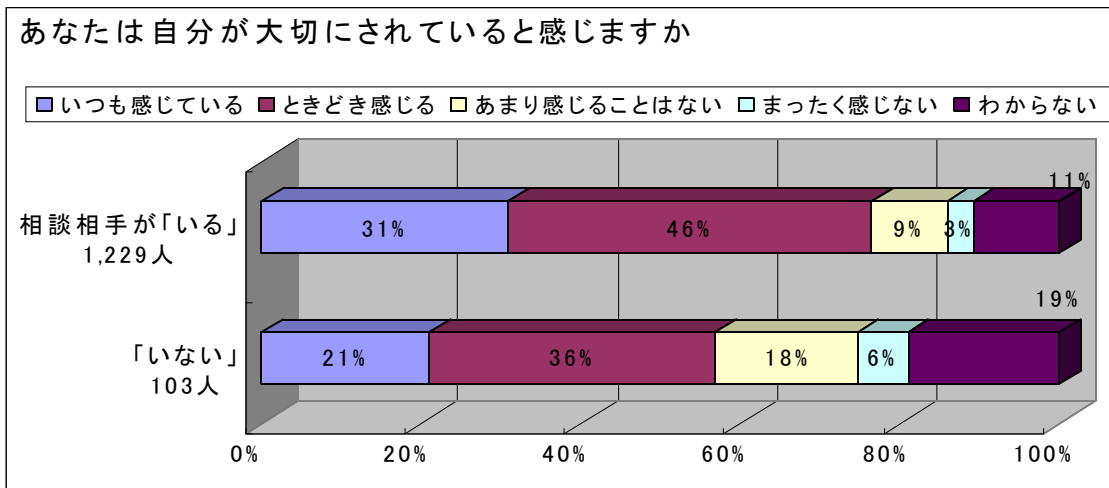
【集計状況】

・すべての地域で、「好き」「まあまあ好き」が8割以上となった。

(1) 相談相手、居場所と自尊感情（自己肯定感）の関係

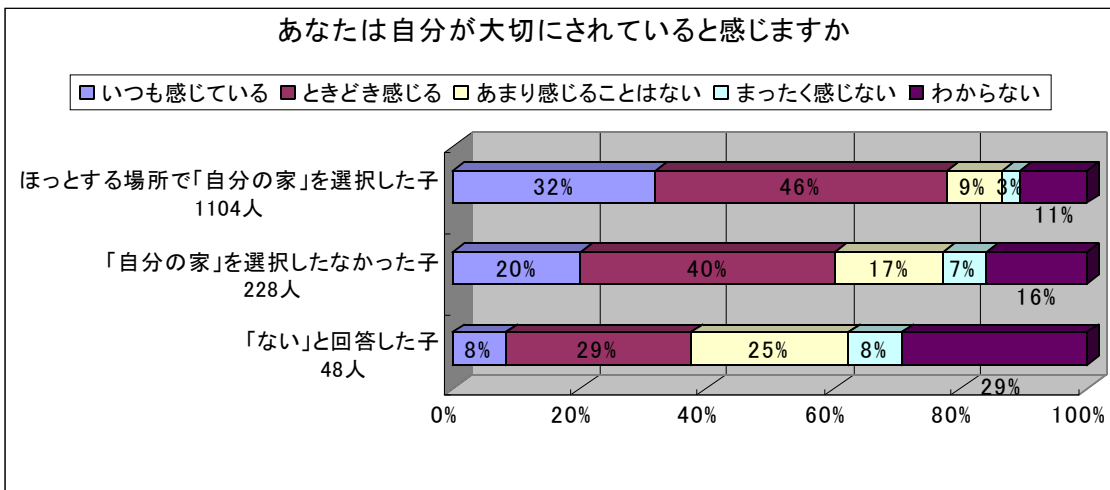
・「相談相手がないと回答した子ども」

→ 「大切にされている」に対する回答



・「ほっとする場所がないと回答した子ども」

→ 「大切にされている」に対する回答



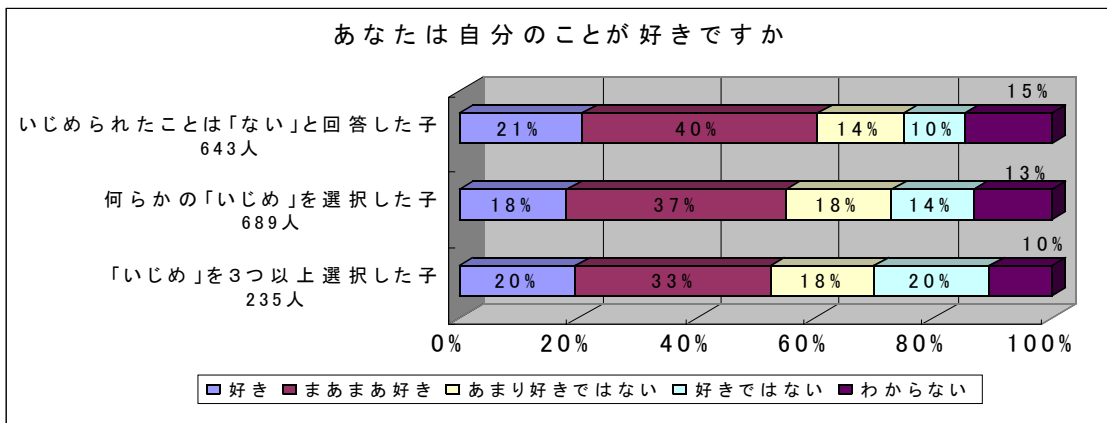
【集計状況】

- ・「相談相手がない」子どもは、大切にされていると「(あまり)感じない」割合が高い。
- ・「ほっとする場所がない」子どもは、「大切にされている」と感じる割合が少ない。

(2) 「いじめ」と自尊感情（自己肯定感）の関係

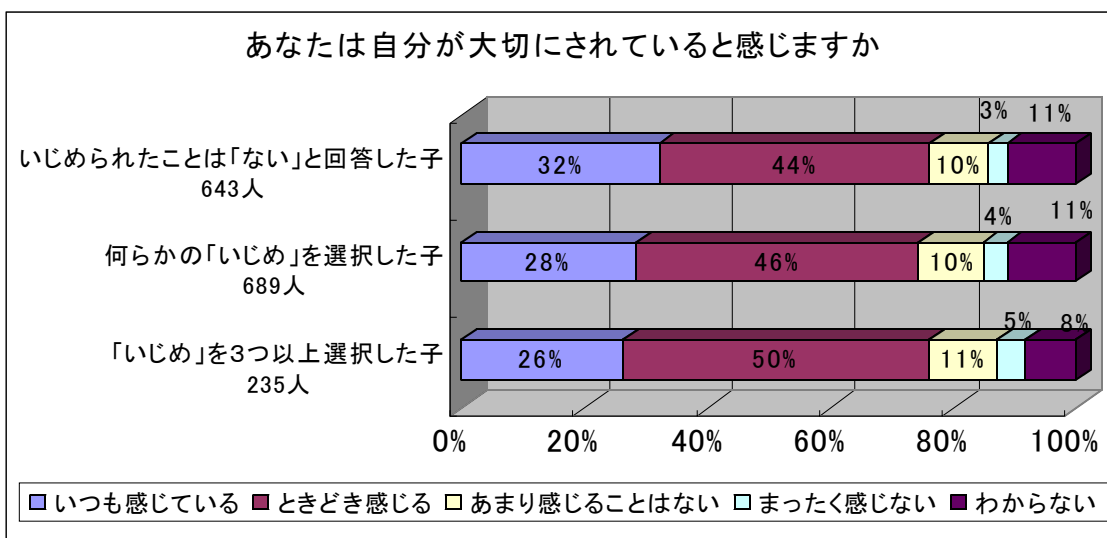
・「いじめにあったことがあると回答した子ども」

→ 「自分のことが好き」に対する回答



・「いじめにあったことがあると回答した子ども」

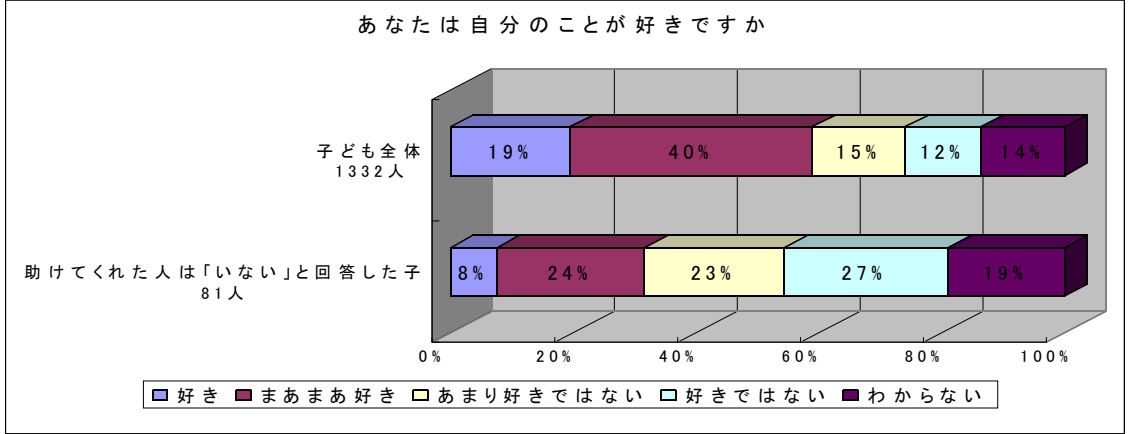
→ 「大切にされている」に対する回答



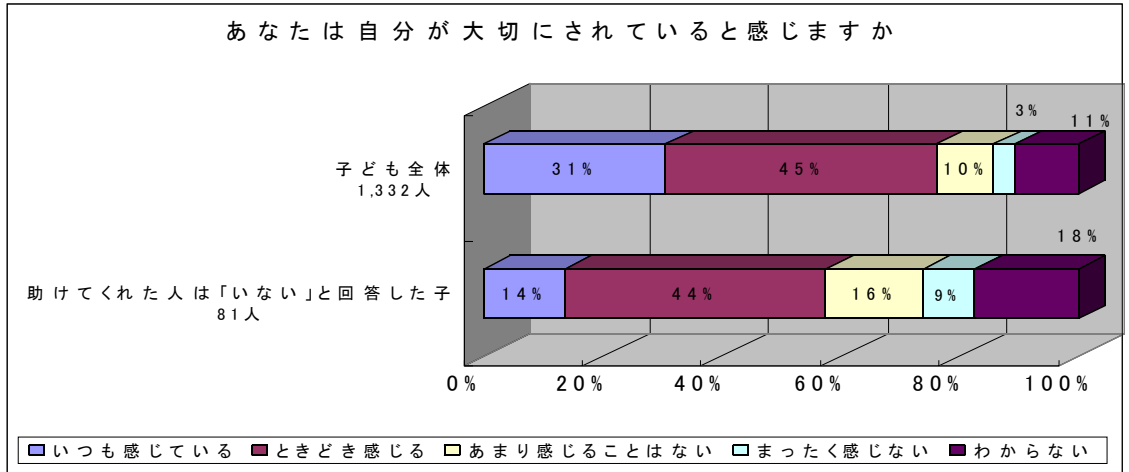
【集計状況】

- ・「いじめ」を3つ以上選択した子は、いじめられたことがない子どもに比べ、「自分のことが好きではない」の回答が倍の比率になる。
- ・いじめられた経験がない子は、「いつも大切にされている」と感じている比率が高い。

・「いじめにあったときに助けてくれた人がいないと回答した子ども」
 →「自分のことが好き」に対する回答



・「いじめにあったときに助けてくれた人がいないと回答した子ども」
 →「大切にされている」に対する回答



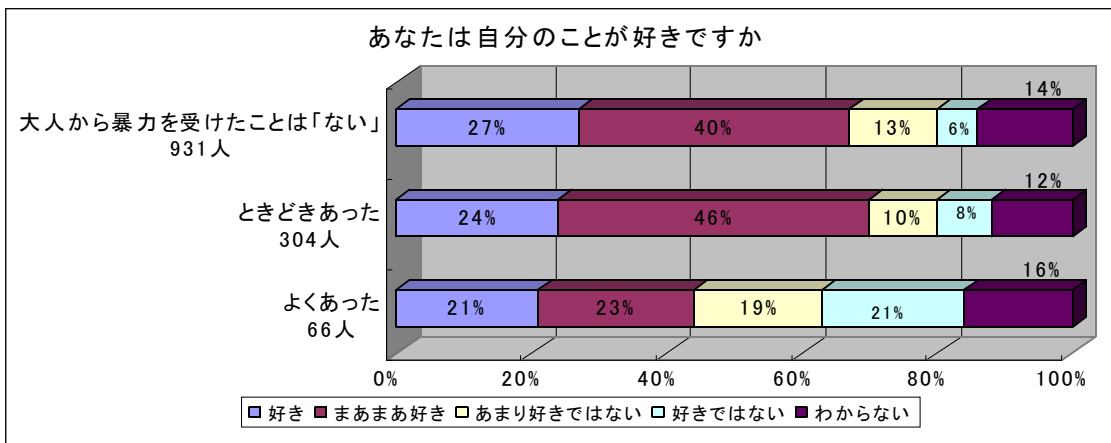
【集計状況】

- ・いじめに際して、「助けてくれた人」の存在が「自分が好き」か否かに関係している。
- ・いじめられたとき助けてくれた人がいる子は、「大切にされている」と感じる比率が高い。

(3) 暴力と自尊心（自己肯定感）の関係

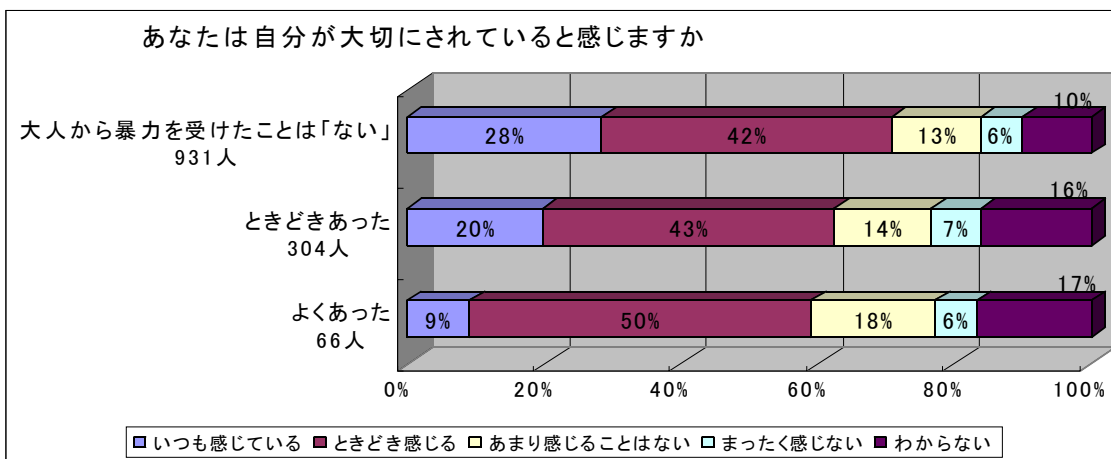
・「おとなから暴力を受けたことがあると回答した子ども」

→ 「自分のことが好き」に対する回答



・「おとなから暴力を受けたことがあると回答した子ども」

→ 「大切にされている」に対する回答

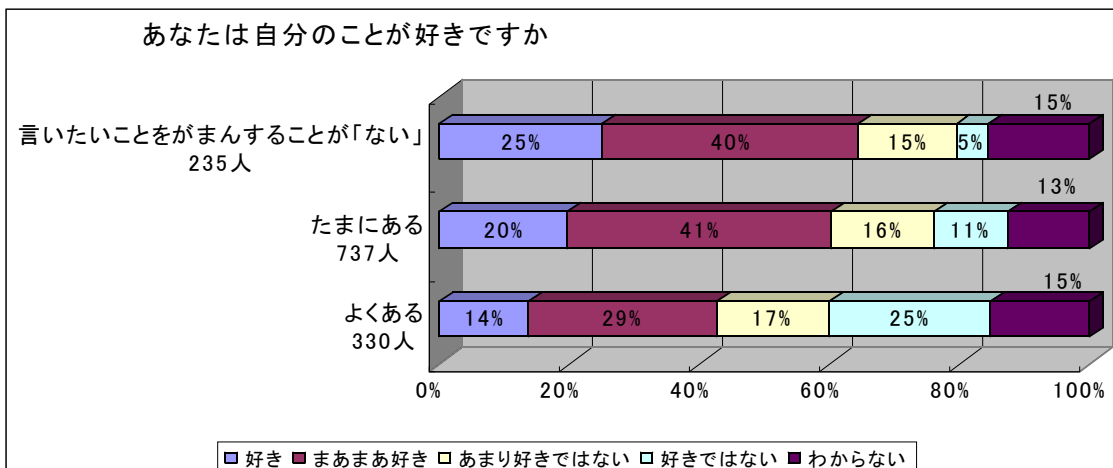


【集計状況】

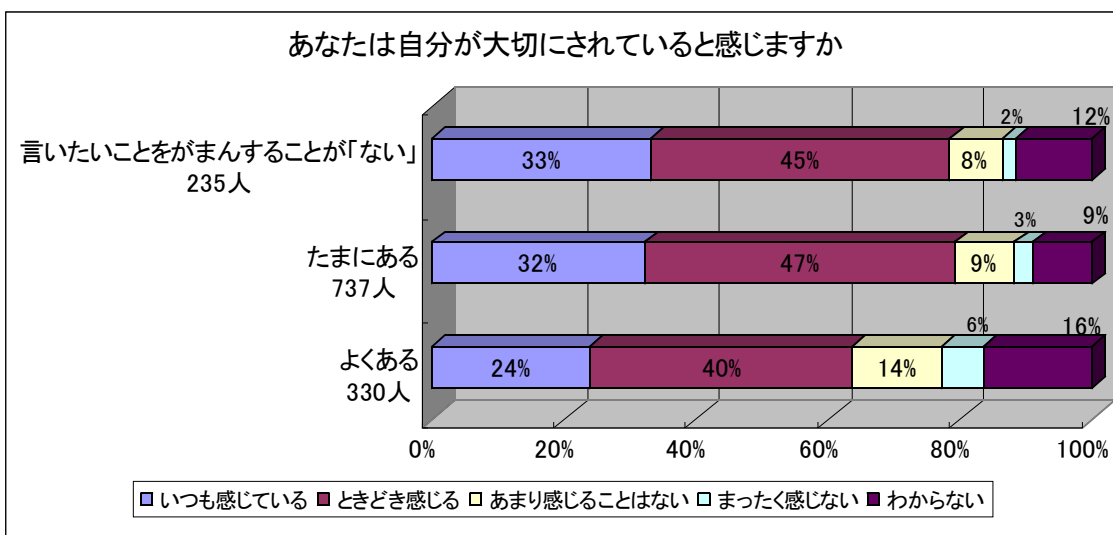
- ・大人からの暴力が「よくあった」子は、「自分のことが好き」の比率が半数以下となる。
- ・大人からの暴力が「よくあった」子は、「大切にされている」といつも感じる比率が大きく減少する。

(4) 意見表明と自尊感情（自己肯定感）の関係

- ・「言いたいことをがまんすることがあると回答した子ども」
→ 「自分のことが好き」に対する回答



- ・「言いたいことをがまんすることがあると回答した子ども」
→ 「大切にされている」に対する回答

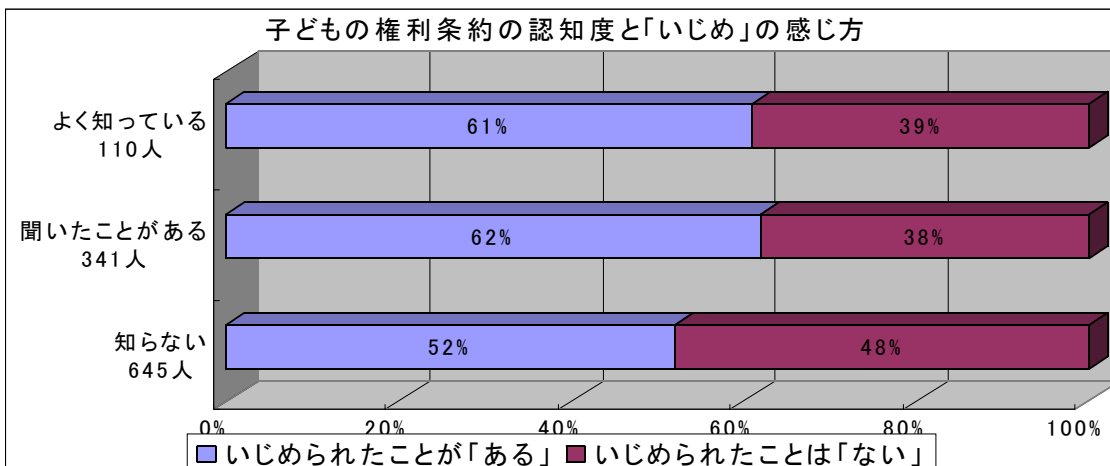


〔集計状況〕

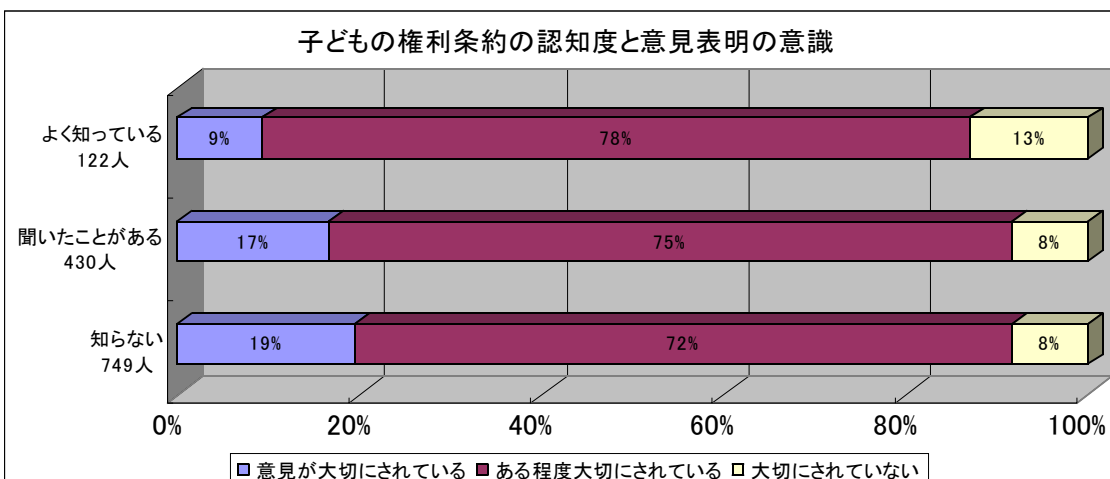
- ・言いたいことをがまんすることが「よくある」子どもは、「自分のことが好き」な比率が下がり、「大切にされている」といつも感じる比率も少なくなる。

(5) 子どもの権利条約の認知度と人権意識の関係

- ・「子どもの権利条約を知っていると回答した子ども」
→「いじめを受けたことがある」



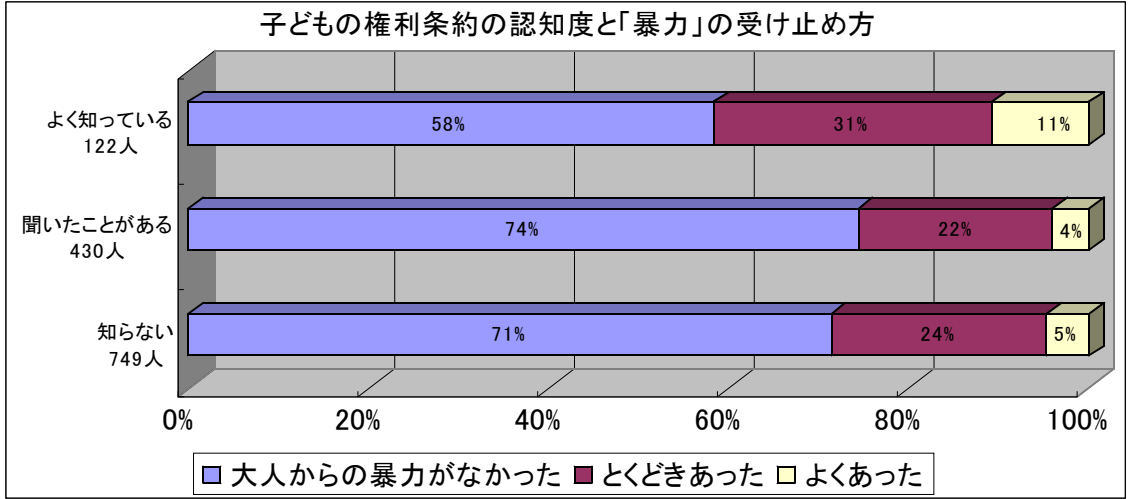
- ・「子どもの権利条約を知っていると回答した子ども」
→「意見が大切にされている」



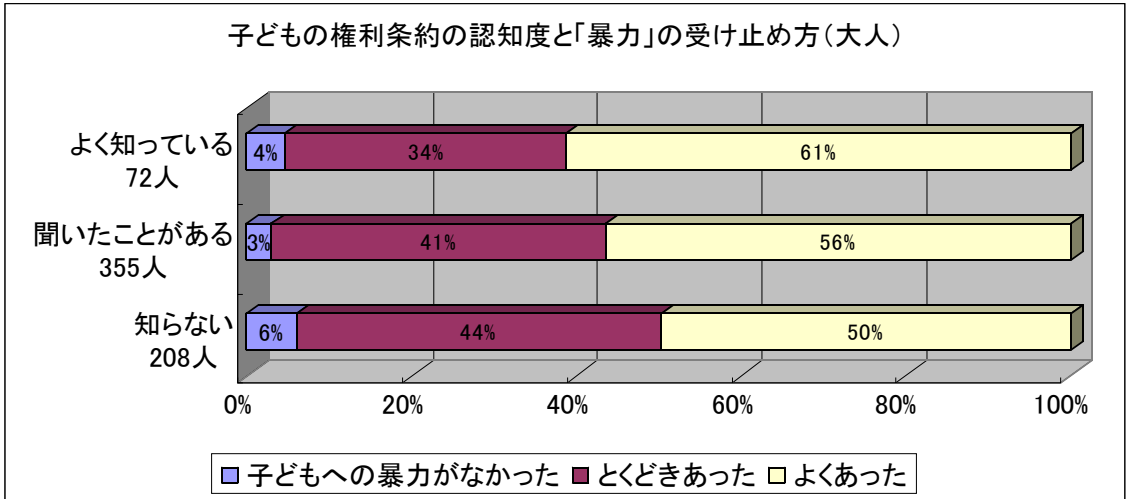
〔集計状況〕

- ・子どもの権利条約を「よく知っている」と回答した子は、いじめられたことがあると回答している率が高く、また「大切にされている」と回答する率が少なくなる。

・「子どもの権利条約を知っていると回答した子ども」
 →「暴力を受けたことがある」に対する回答



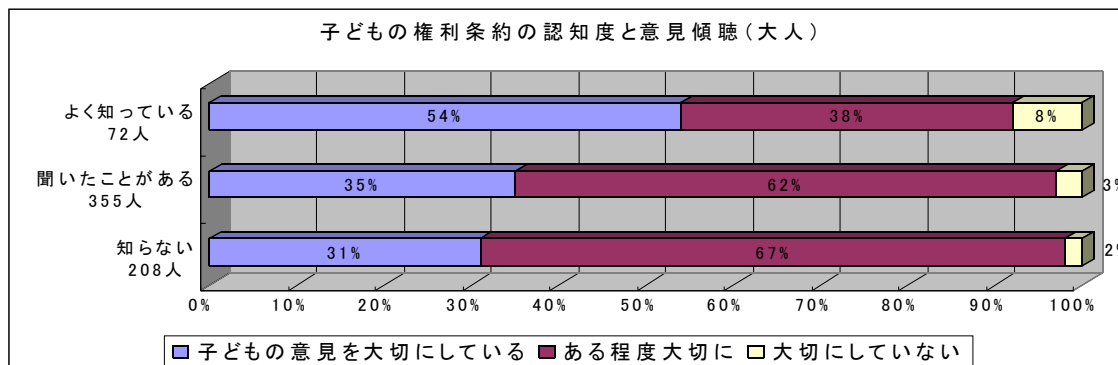
・「子どもの権利条約を知っていると回答した大人」
 →「暴力を加えたことがある」に対する回答



【集計状況】

- ・子どもの権利条約を「よく知っている」と回答した子は、暴力を受けたことがあるとの回答比率が高い。
- ・子どもの権利条約を「よく知っている」と回答した大人（親）は、子どもへ暴力を加えたことがあるとの回答比率が高い。

- ・「子どもの権利条約を知っていると回答した大人」
→「子どもの意見を大切にしている」



〔集計状況〕

- ・子どもの権利条約を「よく知っている」と回答した大人(親)は、子どもの意見を大切にしているとする回答比率が高い。

【「その他」に書かれた回答から】

Qつらい気持ちになったのはどんなとき

- (子ども)「両親が言い争いになったとき」「学校にいけていない」「生きていくこと、生きてきたこと、」
(保護者)「軽い障害があり、そのために自分に自信が持てないとき」

Q一番よく相談するのは誰ですか

- (子ども)「本」「相談しない」「自分」

Q大切にしてくれる相手は誰ですか

- (子ども)「彼女」「学童の先生」(保護者)「校長・教頭」「近所の人たち」

Qほっとする場所はどこですか

- (子ども)「自分の部屋」「バイト先」「塾」「保健室」「誰もいないところ」「彼氏の家」
(保護者)「自分の部屋」「トイレ」

Q次のようないじめにあったことがありますか

- (子ども)「石を投げられた」「ストーカー」「使いっぱしり」「プールに落とされた」
(保護者)「交換ノートに死ぬと書かれた」「犯人扱いされた」

Q暴力を受けたときどのような感じましたか

- (子ども)「やり返してやろうと思った」「怖かった」

Q子どもの権利についてどう考えていますか

- ・「子どもが子どもとしての権利を理解しているとは思いませんし、親が子どもの権利について一定の答えはないと思います。」
- ・「(子どもの権利ばかり教えると)自分は何もしなくてもいいと勘違いする子どもがいるので、(同時に義務や責任も教えないといけない)」
- ・「子供も子供の守られる権利を濫用してはいけない」
- ・「権利の前に家庭のしつけが必要ではないか」